

第60回
四国中学校総合体育大会
大会要項



令和4年7月30日（土）～8月4日（木）・6日（土）～9日（火）・11日（木）

主 催 四国中学校体育連盟・香川県教育委員会・徳島県教育委員会
高知県教育委員会・愛媛県教育委員会・高松市教育委員会
多度津町教育委員会・観音寺市教育委員会・徳島市教育委員会
鳴門市教育委員会・松茂町教育委員会・高知市教育委員会
南国市教育委員会・松山市教育委員会・四国中央市教育委員会
今治市教育委員会・伊予市教育委員会

後 援 香川県中学校長会・徳島県中学校長会・高知県中学校長会
愛媛県小中学校長会・当該競技四国統括団体・当該競技開催県新聞社
当該競技開催県放送局

主 管 香川県中学校体育連盟・徳島県中学校体育連盟
高知県中学校体育連盟・愛媛県中学校体育連盟
香川県開催競技団体・徳島県開催競技団体
高知県開催競技団体・愛媛県開催競技団体

第60回 四国中学校総合体育大会役員

大会名誉会長 工代 祐司

大会名誉副会長 榊 浩一 長岡 幹泰 田所 竜二

大会会長 小野坂寧晃

大会副会長 大阪真智子 佐賀 厚幸 渡部 勇二

顧問	小柳 和代	三木 信行	三野 正	松本 賢治	三浦 克彦
	丹羽 敦子	松下 整	竹内 信人	東 誠	田坂 敏
	藤田 仁	上岡 孝	宮滝 寛己	吉岡 直彦	前田 義朗
	吉田 良二	原田 智	生田 雅和	今城 純子	小池 達士

参加	半山 章人	横畠 道彦	国見 佳延	川崎 豊	大谷 昌三
	大西 賢志	高木 成明	佐々木 徹	高井 真治	涌嶋 徹壽
	溝渕 隆弘	川原 克仁	森根 聖晃	中山 祐次	川尻 仁和
	澤口 博之	土居 直也	永野 隆史	武田 和久	永原 潤一
	梶原 将一	坂本 博和	松浪 健二	萩森 英俊	岩佐 孝
	武田 光芳	福岡 和信	野口 和俊	梶原 翼	河野 歩美
	竹内 清貴	溝渕 浩芳	渡邊 真介	山川 博一	泉 信也
	窪田 春樹	各県競技団体会長			

大会委員長 富田 武志

大会副委員長 賀好 行彦 川村 真弘 池内 裕紀

委員	横井 恒正	早川 康臣	稲澤 健一	夏田 英司	後藤 聡
	田ノ上 将志	造田 考一郎	藤田 志織	末澤 和士	高橋 正
	蓮井 優	高田 英治	安部 大二郎	長野 秀紀	西山 和輝
	井上 輝	安藤 隆	西田 大輔	桃本 大樹	丸岡 弘典
	横手 誉之	浜崎 加代	松田 堯人	田穂 裕輝	島尾 聡子
	森 幸子	岡崎 勝	沖野 達哉	吉野 伸俊	島田 紘季
	八木 保臣	木下 臣仁	本田 隆史	井藤 久也	岡林 功祐
	竹村 和洋	田所 孝浩	田中 晃平	円山 健太郎	西村 誠人
	西村 伸仁	吉川 智佳	堀内 健策	坂下 夢之	竹内 千翔
	植田 竜平	小松 亮太	宮脇 和臣	篠崎 荘	小松 高寿
	小松 康孝	矢野 隆行	天白 真史	荒井 慎也	國和 智彦
	堀内 佐波	山中 誠弘	南 秀治	木下 恵理	樋野 慎平
	榎 光一郎	井上 律	菊池 蔵人	鉾岩 達也	井川 徳重
	富永 洋平	矢野 雅己	八塚 光	増田 一仁	佐藤 一郎
	弘田 新	谷岡 淳	淀谷 茂	中家 啓吾	澤田 純三
	布川 美保	佐古 高伸	原田 賢	馬詰 敦	戸田 哲寛
	石川 典英	馬越 悠	金房 軌人	松山 香織	和田 泰紀
	小前 宏彰	松本 真治	敷田 浩一郎	伊藤 徳章	小笠原 洋司

第60回 四国中学校総合体育大会役員

大会名誉会長		大会委員	
香川県教育委員会教育長	工代 祐司	香川県中体連体操競技専門委員	造田 考一郎
大会名誉副会長		香川県中体連新体操専門委員	藤田 志織
徳島県教育委員会教育長	神 浩一	香川県中体連バレーボール専門委員	末澤 和士
高知県教育委員会教育長	長岡 幹泰	香川県中体連ソフトテニス専門委員	高橋 正
愛媛県教育委員会教育長	田所 竜二	香川県中体連卓球専門委員	蓮井 優
大会会長		香川県中体連バドミントン専門委員	高田 英治
香川県中学校体育連盟会長	小野坂寧晃	香川県中体連ソフトボール専門委員	安部 大二郎
大会副会長		香川県中体連柔道専門委員	長野 秀紀
徳島県中学校体育連盟会長	大阪真智子	香川県中体連剣道専門委員	西山 和輝
高知県中学校体育連盟会長	佐賀 厚幸	香川県中体連相撲専門委員	井上 輝
愛媛県中学校体育連盟会長	渡部 勇二	香川県中体連テニス専門委員	安藤 隆
顧問		徳島県中体連陸上競技専門委員	西田 大輔
高松市教育委員会教育長	小柳 和代	徳島県中体連水泳競技専門委員	桃本 大樹
多度津町教育委員会教育長	三木 信行	徳島県中体連バスケボール専門委員	丸岡 弘典
観音寺市教育委員会教育長	三野 正	徳島県中体連サッカー専門委員	横手 誉之
徳島市教育委員会教育長	松本 賢治	徳島県中体連ハンドボール専門委員	浜崎 加代
鳴門市教育委員会教育長	三浦 克彦	徳島県中体連軟式野球専門委員	松田 堯人
松茂町教育委員会教育長	丹羽 敦子	徳島県中体連体操競技専門委員	田穂 裕輝
高知市教育委員会教育長	松下 整	徳島県中体連新体操専門委員	島尾 聡子
南国市教育委員会教育長	竹内 信人	徳島県中体連バレーボール専門委員	森 幸子
四国中央市教育委員会教育長	東 誠	徳島県中体連ソフトテニス専門委員	岡崎 勝
今治市教育委員会教育長	田坂 敏	徳島県中体連卓球専門委員	沖野 達哉
松山市教育委員会教育長	藤田 仁	徳島県中体連バドミントン専門委員	吉野 伸俊
伊予市教育委員会教育長	上岡 孝	徳島県中体連ソフトボール専門委員	島田 純季
香川県教育委員会保健体育課長	宮滝 寛己	徳島県中体連柔道専門委員	八木 保臣
徳島県教育委員会体育健康安全課長	吉岡 直彦	徳島県中体連剣道専門委員	木下 臣仁
高知県教育委員会保健体育課長	前田 義朗	徳島県中体連相撲専門委員	本田 隆史
愛媛県教育委員会保健体育課長	吉田 良二	徳島県中体連テニス専門委員	井藤 久也
香川県教育委員会義務教育課長	原田 智	高知県中体連陸上競技専門委員	岡林 功祐
徳島県教育委員会教育次長	生田 雅和	高知県中体連水泳競技専門委員	竹村 和洋
高知県教育委員会小中学校課長	今城 純子	高知県中体連バスケボール専門委員	田所 孝浩
愛媛県教育委員会義務教育課長	小池 達士	高知県中体連サッカー専門委員	田中 晃平
		高知県中体連ハンドボール専門委員	円山 健太郎
参加		高知県中体連軟式野球専門委員	西村 誠人
香川県中学校校長会長	半山 章人	高知県中体連体操競技専門委員	西村 伸仁
徳島県中学校校長会長	横畠 道彦	高知県中体連新体操専門委員	吉川 智佳
高知県中学校校長会長	国見 佳延	高知県中体連バレーボール専門委員	堀内 健策
愛媛県小中学校校長会長	川崎 豊	高知県中体連ソフトテニス専門委員	坂下 夢之
香川県中学校体育連盟副会長	半山 章人	高知県中体連卓球専門委員	竹内 千翔
香川県中学校体育連盟副会長	大谷 昌三	高知県中体連バドミントン専門委員	植田 竜平
香川県中学校体育連盟副会長	大西 賢志	高知県中体連ソフトボール専門委員	小松 亮太
香川県中学校体育連盟副会長	高木 成明	高知県中体連柔道専門委員	宮脇 和臣
香川県中学校体育連盟副会長	佐々木 徹	高知県中体連剣道専門委員	篠崎 荘
香川県中学校体育連盟副会長	高井 真治	高知県中体連相撲専門委員	小松 高寿
香川県中学校体育連盟副会長	涌嶋 徹壽	高知県中体連テニス専門委員	小松 康孝
香川県中学校体育連盟副会長	溝渕 隆弘	愛媛県中体連陸上競技専門委員	矢野 隆行
徳島県中学校体育連盟副会長	川原 克仁	愛媛県中体連水泳競技専門委員	天白 真史
徳島県中学校体育連盟副会長	森根 聖児	愛媛県中体連バスケボール専門委員	荒井 慎也
徳島県中学校体育連盟副会長	中山 祐次	愛媛県中体連サッカー専門委員	堀内 智彦
徳島県中学校体育連盟副会長	川尻 仁和	愛媛県中体連ハンドボール専門委員	堀内 俊波
徳島県中学校体育連盟副会長	澤口 博之	愛媛県中体連軟式野球専門委員	山中 誠弘
高知県中学校体育連盟副会長	土居 直也	愛媛県中体連体操競技専門委員	南 秀治
高知県中学校体育連盟副会長	永野 隆史	愛媛県中体連新体操専門委員	木下 恵理
高知県中学校体育連盟副会長	武田 和久	愛媛県中体連バレーボール専門委員	樋野 慎平
高知県中学校体育連盟副会長	永原 潤一	愛媛県中体連ソフトテニス専門委員	横 光一郎
高知県中学校体育連盟副会長	梶原 将一	愛媛県中体連卓球専門委員	井上 律
愛媛県中学校体育連盟副会長	阪本 博和	愛媛県中体連バドミントン専門委員	菊池 蔵人
愛媛県中学校体育連盟副会長	松浪 健二	愛媛県中体連ソフトボール専門委員	鉾岩 達也
愛媛県中学校体育連盟副会長	秋森 英俊	愛媛県中体連柔道専門委員	井川 徳重
高松市教育委員会保健体育課長	岩佐 孝	愛媛県中体連剣道専門委員	富永 洋平
多度津町教育委員会学校教育課長	武田 光芳	愛媛県中体連相撲専門委員	矢野 雅己
観音寺市教育委員会学校教育課長	福岡 和信	愛媛県中体連テニス専門委員	八塚 光
徳島市教育委員会学校教育課長	野口 和俊	香川県教育委員会保健体育課指導主事	増田 一仁
鳴門市教育委員会学校教育課長	梶原 真	徳島県教育委員会体育健康安全課指導主事	佐藤 一郎
松茂町教育委員会学校教育課長	河野 歩美	高知県教育委員会保健体育課指導主事	弘田 新
高知市教育委員会学校教育課長	竹内 清貴	愛媛県教育委員会保健体育課指導主事	谷岡 淳
南国市教育委員会学校教育課長	溝渕 浩芳	高松市教育委員会保健体育課担当指導主事	淀谷 茂
四国中央市教育委員会学校教育課長	渡邊 真介	多度津町教育委員会教育課担当指導主事	中家 啓吾
今治市教育委員会学校教育課長	山川 博一	観音寺市教育委員会学校教育課担当指導主事	澤田 純三
松山市教育委員会保健体育課長	泉 信也	徳島市教育委員会体育保健給食課課長補佐	布川 美保
伊予市教育委員会学校教育課長	窪田 春樹	鳴門市教育委員会学校教育課指導主事	佐古 高伸
各県競技団体会長		松茂町教育委員会社会教育課長	原田 賢
大会委員長		高知市教育委員会学校教育課担当指導主事	馬詰 敦
四国中学校体育連盟理事長	富田 武志	南国市教育委員会学校教育課担当指導主事	戸田 哲寛
大会副委員長		四国中央市教育委員会学校教育課主幹	石川 典英
徳島県中学校体育連盟理事長	賀好 行彦	今治市教育委員会学校教育課担当指導主事	馬越 悠
高知県中学校体育連盟理事長	川村 真弘	松山市教育委員会保健体育課担当指導主事	金房 軌人
愛媛県中学校体育連盟理事長	池内 裕紀	伊予市教育委員会学校教育課担当指導主事	松山 香織
大会委員		香川県中学校体育連盟副理事長	和田 泰紀
香川県中体連陸上競技専門委員	横井 恒正	香川県中学校体育連盟事務局長	小前 宏彰
香川県中体連水泳競技専門委員	早川 康臣	徳島県中学校体育連盟副理事長	松本 真治
香川県中体連バスケボール専門委員	稲澤 健一	徳島県中学校体育連盟事務局長	敷田 浩一郎
香川県中体連サッカー専門委員	夏田 英司	高知県中学校体育連盟副理事長	伊藤 徳章
香川県中体連ハンドボール専門委員	後藤 聡	愛媛県中学校体育連盟事務局長	小笠原洋司
香川県中体連軟式野球専門委員	田ノ上 将志		

第60回 四国中学校総合体育大会

一 般 要 項

- 1 期 日 令和4年7月30日（土）～8月4日（木）・6日（土）～9日（火）・11日（木）
- 2 会 場 四国4県各競技会場（下記一覧表参照）
- 3 実 施 競 技 17競技
- 4 参 加 者 各県大会を経て選抜された代表チーム及び個人
- 5 競技別会場

競 技 名	性別	期日	会 場	開場時刻	競技開始	専門部長会	監督会議
陸 上 競 技	男女	7/30・31	香 屋島レクザムフィールド	30日 8:30 31日 7:30	30日 13:00 31日 9:30	30日 10:00	
水 泳 競 技	男女	7	愛 アクアパレットまつやま	7日 7:30	7日 9:20	6日 13:00	
バスケットボール	男女	6・7	徳 松茂町総合体育館	6日 8:30 7日 8:30	6日 12:00 7日 9:30	6日 10:50 7日 12:00	6日 11:00
サ ッ カ ー		1・2・3	高 春野総合運動公園球技場 陸上補助競技場	1日 8:00 2日 8:00 3日 8:00	1日 11:00 2日 10:00 3日 10:00	1日 9:00	1日 9:00
ハンドボール	男女	6・7	愛 男：松山市総合コミュニティセンター体育館 女：伊予市民体育館	6日 8:00 7日 8:00	6日 12:00 7日 9:00	6日 9:30	6日 11:00 男女各会場
軟 式 野 球		2・3・4	愛 坊っちゃんスタジアム マドンナスタジアム	2日 7:30 3日 8:00 4日 8:00	2日 13:00 3日 10:00 4日 10:00	2日 11:00	2日 11:00
体 操 競 技	男女	7/30 7/31	香 多度津町民体育館	30日 8:30 31日 9:00	30日 14:00 31日 12:15	30日 9:30	30日 10:00 31日 9:30
新 体 操	男	7/30	香 多度津町民体育館	30日 8:30	30日 11:10		
	女	6	高 南国市立スポーツセンター	6日 8:30	6日 10:50	5日 15:10 6日 15:10	5日 15:40
バレーボール	男女	6・7	愛 伊予三島運動公園体育館	6日 9:00 7日 8:30	6日 11:00 7日 10:00	6日 11:30	6日 9:30
ソフトテニス	男女	6・7	愛 今治市営スポーツパークテニスコート	6日 8:00 7日 8:00	6日 11:30 7日 9:30	6日 9:30	6日 10:30 7日 8:30
卓 球	男女	8・9	徳 アミノバリューホール	8日 8:00 9日 8:00	8日 12:00 9日 9:00	8日 9:30	8日 10:30
バドミントン	男女	8・9	高 南国市立スポーツセンター	8日 8:00 9日 8:00	8日 12:10 9日 9:30	8日 10:00	
ソフトボール	男女	7/30・31	徳 吉野川北岸運動広場	30日 7:00 31日 7:00	30日 12:00 31日 9:00	30日 9:30	30日 10:00
柔 道	男女	7/31 8 / 1	高 県立武道館	31日 8:00 1日 7:30	31日 12:00 1日 9:30	31日 9:20 1日 7:50	31日 10:50 1日 8:50
剣 道	男女	3	香 観音寺市立総合体育館	3日 8:00	3日 9:30	2日 11:00	3日 8:45
相 撲	男	11	徳 むつみパーク蔵本相撲場	11日 8:30	11日 10:00	10日 15:00	11日 9:30
テ ニ ス	男女	6・7	香 香川県総合運動公園テニス場	6日 8:30 7日 8:30	6日 13:30 7日 10:30	6日 12:00	6日 12:30

6 練習会場、時間（原則として競技会場をあてる。また、近い県から順番に時間帯を割振る。）

県名	練習日	競技名	県名	練習時間帯
香川県	7/30	陸上競技	香川・徳島・愛媛・高知	本競技場 8:30 ~ 12:20
				室内・補助競技場 8:30 ~ 17:00
	7/31			室内・補助競技場 7:30 ~ 17:00
	7/30	体操競技	香川・徳島・愛媛・高知	11:45 ~ 13:45
	7/31			10:00 ~ 12:00
	7/30	新体操（男子）	徳島	9:30 ~ 11:00
	2日	剣道	香川・徳島・愛媛・高知	14:00 ~ 17:00
	6日	テニス	香川・徳島・愛媛・高知	9:00 ~ 12:00
	7日			9:00 ~ 10:00
徳島県	6日	バスケットボール	徳島	9:00 ~ 9:30
			香川	9:30 ~ 10:00
			高知	10:00 ~ 10:30
			愛媛	10:30 ~ 11:00
	8日	卓球	徳島・香川・高知・愛媛	8:00 ~ 11:00
	9日			8:00 ~ 8:50
	7/30	ソフトボール	徳島・香川	9:00 ~ 10:00
			高知・愛媛	10:00 ~ 11:00
	10日	相撲	徳島・香川・高知・愛媛	11:00 ~ 17:00
高知県	1日	サッカー	高知・香川・愛媛・徳島	8:00 ~ 9:30
	5日	新体操（女子）	高知	11:00 ~ 12:00
			香川	12:00 ~ 13:00
			愛媛	13:00 ~ 14:00
			徳島	14:00 ~ 15:00
	8日	バドミントン	高知・香川・愛媛・徳島	9:00 ~ 11:00
	9日			8:30 ~ 9:10
	7/31	柔道	高知・香川・愛媛・徳島	8:10 ~ 11:10
	8/1			7:40 ~ 9:10
愛媛県	6日	水泳競技	愛媛・高知・香川・徳島	11:00 ~ 15:00
	6日	ハンドボール	愛媛	9:00 ~ 9:30
			香川	9:30 ~ 10:00
			高知	10:00 ~ 10:30
			徳島	10:30 ~ 11:00
	2日	軟式野球	愛媛	8:30 ~ 9:00
			高知	9:00 ~ 9:30
			香川	9:30 ~ 10:00
			徳島	10:00 ~ 10:30
	6日	バレーボール	第1試合のチーム	10:00 ~ 10:40
			第2試合のチーム	サブアリーナ 11:00 ~
			第3試合のチーム	サブアリーナ 12:30 ~
			第4試合のチーム	サブアリーナ 14:00 ~
	6日	ソフトテニス	愛媛・高知・香川・徳島	9:00 ~ 10:30

7 専門部長会・監督会	原則として、競技開始前に各会場で行う。		
8 表彰	団体1～3位（学校に賞状） ※1位には優勝杯（持ち回り）、個人に賞状 個人1～3位（個人に賞状）		
9 参加賞	各県の選手及びマネージャーに配布する。		
10 申込締切	令和4年7月29日（金） 9時30分 申込は各県事務局を経て、大会事務局で集約する。その後、各県開催競技に分け、各県事務局が持ち帰る。		
11 大会事務局	香川県高松市上福岡町 714-1 香川県中学校体育連盟	高松市立玉藻中学校内	TEL 087-837-9127 FAX 087-837-9126
12 競技別事務局	徳島県徳島市中前川町 3-16 徳島県中学校体育連盟	徳島市徳島中学校内	TEL 088-653-8338 FAX 088-623-3176
	高知県高知市八反町 1-8-14 高知県中学校体育連盟	高知市立城北中学校内	TEL 088-824-5968 FAX 088-824-5968
	愛媛県松山市市坪南 1-1-20 愛媛県中学校体育連盟	松山市立椿中学校内	TEL 089-958-8499 FAX 089-958-9258

競 技 要 項

【 総 則 】

- 1 競技は本年度各競技協会・連盟及び（公財）日本中学校体育連盟の各競技部が定める規則に準じて行う。
- 2 合同チームの編成については、四国中学校体育連盟「複数校合同チーム編成規程」に則る。
- 3 引率者及び監督

- (1) 引率者及び監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。
- (2) 大会では、外部指導者（コーチ）をおくことができる。外部指導者（コーチ）は、出場校の校長が認めた者とし、必ず外部指導者（コーチ）証【各県で使用する物】を身に付けること。また、次の二点を遵守すること。

- ① 当該校以外の中学校教職員は、外部指導者（コーチ）になれない。
- ② 同一人が複数校の外部指導者（コーチ）になれない。

【水泳競技・体操競技・新体操・卓球を除く。】

4 個人情報の取扱い（利用目的）

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、四国中学校体育連盟個人情報保護方針・規程に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表（記録集）等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する各選手は、これに同意する。

5 組合せ

- (1) 団体戦は、県代表 1 チームについてはフリー抽選。県代表 2 チーム以上の競技は、左右のゾーンに振り分ける。また、各県の 1 位が 1 回戦で対戦しないように配慮する。
- (2) 個人戦は、各県の個人順位または、強い順によりゾーン配分して組み合わせる。
- (3) 申込書には必ず順位を明記すること。

6 参加料

参加選手一人につき 2,000 円とする。（マネージャーを除く。）

7 備 考

- (1) 各競技本部は、環境状況（気温、湿度、風速、輻射熱等）を十分に把握し、適宜水分補給、休憩等をとるようにすること。

【環境省熱中症予防情報サイト】

URL <http://www.wbgt.env.go.jp/>

- (2) 各競技本部は、自然災害等による事故防止のため、常に最新の気象情報の収集に努め、活動途中の降雨及び落雷等の気象の変化に対しては、選手等の健康及び安全面を最優先し、各県大会本部と協議の上、適切な措置を講じること。

高松地方气象台 : TEL 087-867-6112

URL <http://www.jma-net.go.jp/takamatsu/>

徳島地方气象台 : TEL 088-656-9549

URL <http://www.jma-net.go.jp/tokushima/>

高知地方气象台 : TEL 088-822-8883

URL <http://www.jma-net.go.jp/kochi/>

松山地方气象台 : TEL 089-941-6293

- (3) 屋外競技については、落雷の予兆があった場合は、速やかに活動を中止し、危険性がなくなると判断されるまで安全な場所に避難するなど、選手の安全確保を最優先事項として常に留意すること。

【陸 上 競 技】

1 参加規程

(1) 種 目

男 子 (18 種目) 学年種目：1 年 100m・2 年 100m・3 年 100m

1 年 1500m・2 年 1500m・3 年 1500m

共通種目：200m・400m・800m・3000m・110mH・4×100m リレー

走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・四種競技

女 子 (14 種目) 学年種目：1 年 100m・2 年 100m・3 年 100m

1 年 1500m・2 年 1500m・3 年 1500m

共通種目：200m・800m・100mH・4×100m リレー

走高跳・走幅跳・砲丸投・四種競技

(2) 資 格

各県 1 種目 4 名とする。ただし、リレーは各県 2 チームとする。

(3) 制 限

1 人の出場は 2 種目以内とする。ただし、リレーは除く。

2 競技規則

(1) 競走競技の予選通過は、各組 3 着＋2 とする。

ただし、1500m・3000m は、予選を行わず 16 名で決勝を行う。

(2) 得点は、1 位 8 点・…・8 位 1 点とし、学校対抗とする。

(3) ナンバーカードは、各県に配番された番号を明記し、各県で準備する。

香川 (オリーブ) 1～150 徳島 (イエロー) 201～350

高知 (ピ ン ク) 401～550 愛媛 (オレンジ) 601～750



↑ ※ ナンバーカードの割り振りは男子から行い、男女込みの通し番号とする。

20 ※ ナンバーカード下部に県名を入れる。

cm ※ ナンバーカードは、胸と背に確実に付けること。ただし、跳躍種目 については、胸か背のいずれかでよい。

← 25cm →

(4) スパイクのピンは、全天候用の 9 mm 以下とする。(走高跳は 12 mm 以下)

(5) 招集所において、競技で使用するシューズの靴底の厚さを計測する。世界陸上競技連盟 (WA) 規則第 143 条 (テクニカルルール第 5 条=TR5) を確認し、規定内のシューズを履いて出場すること。規定外のシューズを履いて出場することはできない。

(6) 申込は各県委員長がとりまとめ、申込一覧表 (様式 A) と学校別申込表 (様式 B) 及び県中学 (最高) 記録一覧表 (様式 C) をそろえて、開催県委員長に申し込むこと。

3 競技方法

学校対抗及び種目別選手権

4 競技日程

〈第1日目〉

トラック競技				
No	性別	種 目		時 刻
1	女	800m	予選	13:00
2	男	800m	予選	13:20
3	女	四種100mH	2組	13:50
4	男	四種110mH	2組	14:10
5	女	200m	予選	14:30
6	男	200m	予選	14:45
7	女	1年1500m	決勝	15:00
8	男	1年1500m	決勝	15:15
9	男	3000m	決勝	15:30
10	女	200m	決勝	15:50
11	男	200m	決勝	16:00
12	女	800m	決勝	16:10
13	男	800m	決勝	16:20

フィールド競技				
No	性別	種 目		時 刻
1	男	走高跳	決勝	13:00
2	女	走幅跳	決勝	13:00
3	女	砲丸投	決勝	13:00
4	女	四種走高跳		15:00
5	男	走幅跳	決勝	15:00
6	男	四種砲丸投		15:30

開 会 式	実施しない
-------	-------

〈第2日目〉

トラック競技				
No	性別	種 目		時 刻
1	女	100mH	予選	9:30
2	男	110mH	予選	9:45
3	男	400m	予選	10:10
4	女	1年100m	予選	10:25
5	女	2年100m	予選	10:35
6	女	3年100m	予選	10:45
7	男	1年100m	予選	10:55
8	男	2年100m	予選	11:05
9	男	3年100m	予選	11:15
10	女	100mH	決勝	11:30
11	男	110mH	決勝	11:40
12	女	1年100m	決勝	11:50
13	女	2年100m	決勝	12:00
14	女	3年100m	決勝	12:10
15	男	1年100m	決勝	12:20
16	男	2年100m	決勝	12:30
17	男	3年100m	決勝	12:40
18	女	四種200m	2組	12:50
19	男	四種400m	2組	13:00
20	男	400m	決勝	13:10
21	女	2年1500m	決勝	13:30
22	女	3年1500m	決勝	13:40
23	男	2年1500m	決勝	13:50
24	男	3年1500m	決勝	14:00
25	女	4×100mR	決勝	14:20
26	男	4×100mR	決勝	14:30

フィールド競技				
No	性別	種 目		時 刻
1	男	四種走高跳		9:30
2	女	四種砲丸投		9:30
3	男	棒高跳	決勝	10:00
4	女	走高跳	決勝	11:30
5	男	三段跳	決勝	12:00
6	男	砲丸投	決勝	12:00

閉 会 式	実施しない
-------	-------

【水 泳 競 技】

1 参加規程

(1) 種 目

種 目	男 子	女 子
自 由 形	50 100 200 400 1500	50 100 200 400 800
平 泳 ぎ	100 200	100 200
バタフライ	100 200	100 200
背 泳 ぎ	100 200	100 200
個人メドレー	200 400	200 400
メドレーリレー	400	400
リ レ ー	400	400

(2) 資 格

各県1種目2名，リレーは2チームとする。

(3) 制 限

1種目2名，1人2種目以内。ただし，リレーは除く。

2 競技規則

(1) レースは，すべて決勝とする。

(2) スタートは，1回とする。

(3) 優勝校の決定法

各種目ごとに1位8点・2位7点・3位6点……………8位1点（ただし，リレー種目は，1位16点・2位14点・3位12点……………8位2点）とし，得点の順にしたがって決定する。

総合得点と同じ場合は，次の順にしたがって決定する。

- ① リレーによる得点の多い学校
- ② 入賞者の多い学校（ただし，リレーは4人とする。）
- ③ 1位の数の多い学校
- ④ 2位の数の多い学校（以下，3位・4位……の順で）

3 競技方法

学校対抗及び種目別選手権

4 競技日程

開始式 9:00～

1	女子	400m	個人メドレー	決 勝	9:20
2	男子	400m	個人メドレー	決 勝	
3	女子	800m	自由形	決 勝	9:40
4	男子	1500m	自由形	決 勝	9:55
5	女子	50m	自由形	決 勝	10:20
6	男子	50m	自由形	決 勝	
7	女子	200m	自由形	決 勝	10:30
8	男子	200m	自由形	決 勝	
9	女子	200m	バタフライ	決 勝	10:45
10	男子	200m	バタフライ	決 勝	
11	女子	200m	背泳ぎ	決 勝	11:00
12	男子	200m	背泳ぎ	決 勝	
13	女子	200m	平泳ぎ	決 勝	11:15
14	男子	200m	平泳ぎ	決 勝	
15	女子	4×100m	リレー	決 勝	11:40
16	男子	4×100m	リレー	決 勝	

【昼 食】

17	女子	100m	バタフライ	決 勝	12:50
18	男子	100m	バタフライ	決 勝	
19	女子	100m	自由形	決 勝	13:00
20	男子	100m	自由形	決 勝	
21	女子	100m	背泳ぎ	決 勝	13:10
22	男子	100m	背泳ぎ	決 勝	
23	女子	100m	平泳ぎ	決 勝	13:20
24	男子	100m	平泳ぎ	決 勝	
25	女子	200m	個人メドレー	決 勝	13:30
26	男子	200m	個人メドレー	決 勝	
27	女子	400m	自由形	決 勝	13:45
28	男子	400m	自由形	決 勝	
29	女子	4×100m	メドレーリレー	決 勝	14:20
30	男子	4×100m	メドレーリレー	決 勝	

終了式 15:00～

【バスケットボール】

1 参加規程

各県男女各2チームとする。

2 競技規則

- (1) (公財)日本バスケットボール協会「2022 バスケットボール競技規則」による。
- (2) ベンチは組合せ番号の小さいチームが、コートからオフィシャル席に向かって右側とする。
- (3) メンバー票の提出は必要ない。ただし、メンバーの変更がある場合は、「変更届」を監督会議で提出する。
- (4) ユニフォームの色は、組合せ番号の小さいチームが淡色を着用する。2020年4月から施行されている(2020年11月11日更新)JBAユニフォーム規則に従い、ユニフォームの番号は「0から99・00」までのいずれかの番号のものを着用すること。
- (5) 前のゲームのハーフタイムでは、次のゲームのチームが3分前まで練習をしてもよい。
- (6) ベンチに入れる者は、登録された選手15名以内と、引率責任者1名、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名の合計19名以内とする。
 - ① 引率責任者は、出場校の校長・教員(非常勤講師は除く)・部活動指導員とする。
 - ② コーチ・アシスタントコーチ(Aコーチ)は、校長の認めた者とする。
 - ③ マネージャーは、出場校の教員または生徒とする。
- (7) マンツーマン推進の精神に則り、ゾーンディフェンスは禁止とする。なお、最新版の推進関連規定(2021.4.1版)を適用する。

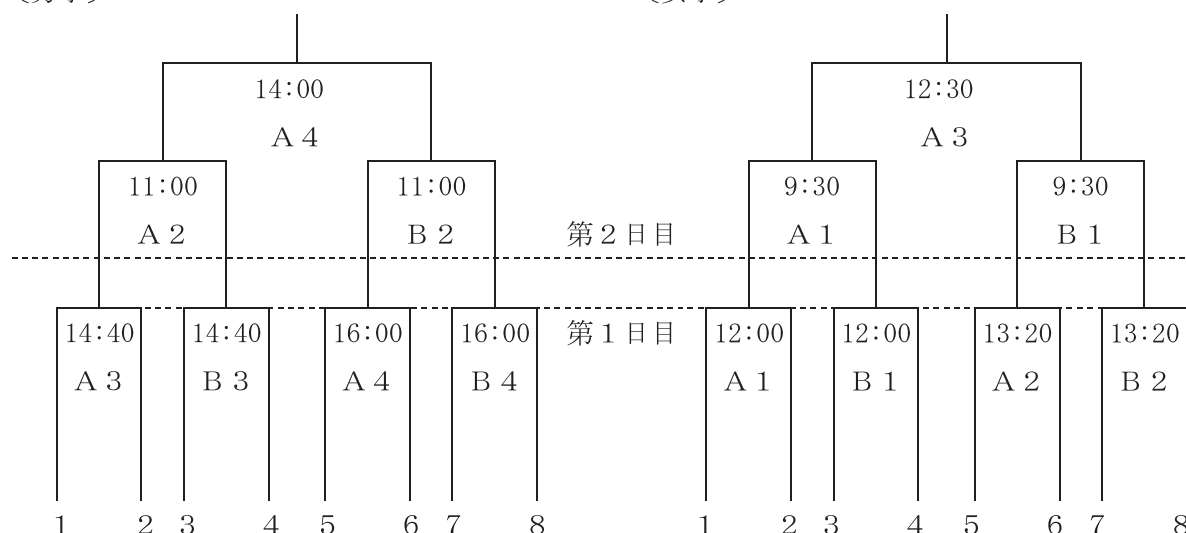
3 競技方法

- (1) トーナメント方式とする。3位決定戦は行わない。

- (2) 組合せ

〔男子〕

〔女子〕



4 その他

- (1) フロアでの給水は、スクイズボトルとする。
- (2) 開会式、閉会式は行わない。

【サ ッ カ ー】

1 参加規程

各県2チームとする。

(公財)日本サッカー協会の女子加盟チーム選手は、在籍中学校の生徒であれば、移籍を行うことなく、本大会に参加することができる。

2 競技規則

(1) (公財)日本サッカー協会の「サッカー競技規則(当該年度)」による。

(2) 選手登録は18名とし、試合開始前に最大限7名までの交替要員の氏名を主審に通告しておき、交替要員全員が、主審の許可を得て交替することができる。(一度退いた競技者は再び出場することはできない。)

※ 登録(申込書)に変更がある場合は、監督会議にて「変更届」を16部提出すること。

(3) テクニカルエリアを採用する。

(4) 使用球は公認球(5号)とする。

(5) 本大会において、退場を命じられた選手は、次の1試合に出場することができない。違反行為の内容によっては、大会の規律委員会で、それ以後の処置について決定する。各県大会における退場による出場停止処分の未消化分に関しては、四国大会でも適用される。

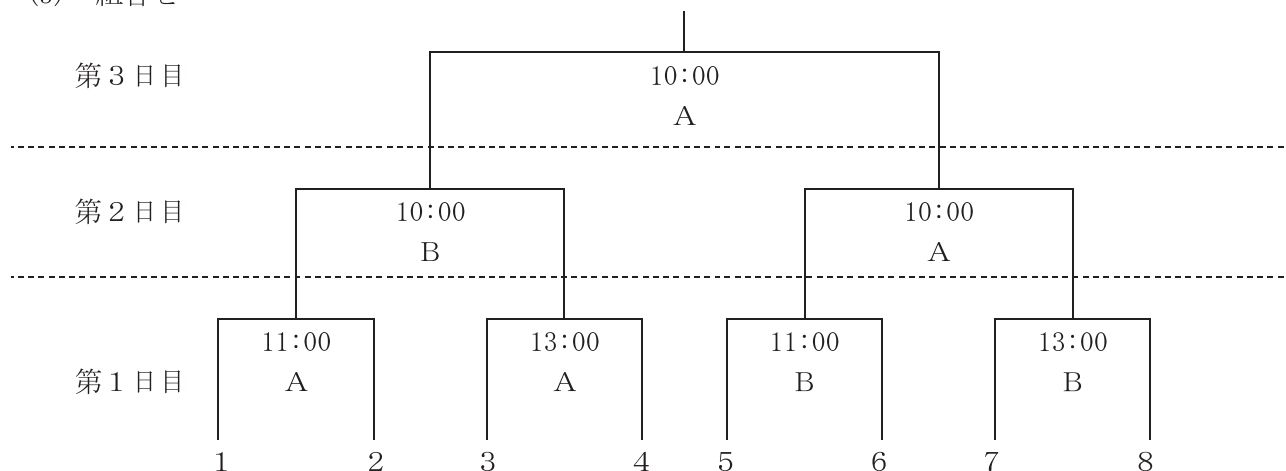
(6) 本大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。各県大会における警告の累積による出場停止の未消化分に関しては、四国大会では適用されない。

3 競技方法

(1) トーナメント方式とする。

(2) 試合時間は60分(30分ハーフ)とする。勝敗が決しないときは、10分間(5分ハーフ)の延長を行う。なお決しないときは、PK方式により勝敗を決定する。

(3) 組合せ



4 その他

(1) ユニホームは参加申込書に記入したもの。参加申込書類送付以降の変更は認められない。なお、背番号の変更も認めない。また、必ず正・副と異なる色のユニホーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)を用意すること。

(2) 審判員と同一色または類似色(黒または紺)のユニホームをシャツに用いることはできない。なお、ショーツとストッキングは黒または紺のみでも可とする。ゴールキーパーについても同様である。

(3) シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手番号を付けること。ショーツの番号については、付けることが望ましい。なお、番号は1番から99番までとする。

(4) 雷発生の危険性が高い場合は、直ちに試合を中断し、その後の処置については、本大会の専門部で決定する。

(5) 今大会は新型コロナウイルス感染防止対策を実施した上での開催とする。また開催県の現状に沿って、その時期に適した注意事項等の説明文については別紙にて説明する。

【ハンドボール】

1 参加規程

- (1) 各県男女2チームとする。
- (2) 選手15名以内、役員4名以内。
(役員とは、監督1名、役員3名とする。当該校教職員及び部活動指導員であり、外部コーチは校長が認めた者でなければならない。)

2 競技規則

- (1) (公財)日本ハンドボール協会競技規則(当該年度規則)による。
- (2) 競技時間 25分-10分-25分
 - ① 延長戦は、準決勝戦までは第一延長のみとし、その後は7mTCとする。
 - ② 決勝戦は、正規で行い、決しない場合は7mTC(5人)とする。
- (3) ユニフォームは、コート上でCPとGKの4色が判別できるものを用意する。
- (4) 申込後の選手変更は、「変更届」に記入の上、監督会議前に本部に提出すること。
- (5) ボールは、(公財)日本ハンドボール協会検定1号球・2号球(松やにレス)を使用する。
- (6) 館内で松やに、松やにスプレーの使用を禁止する。両面テープの使用は認める。

3 競技方法

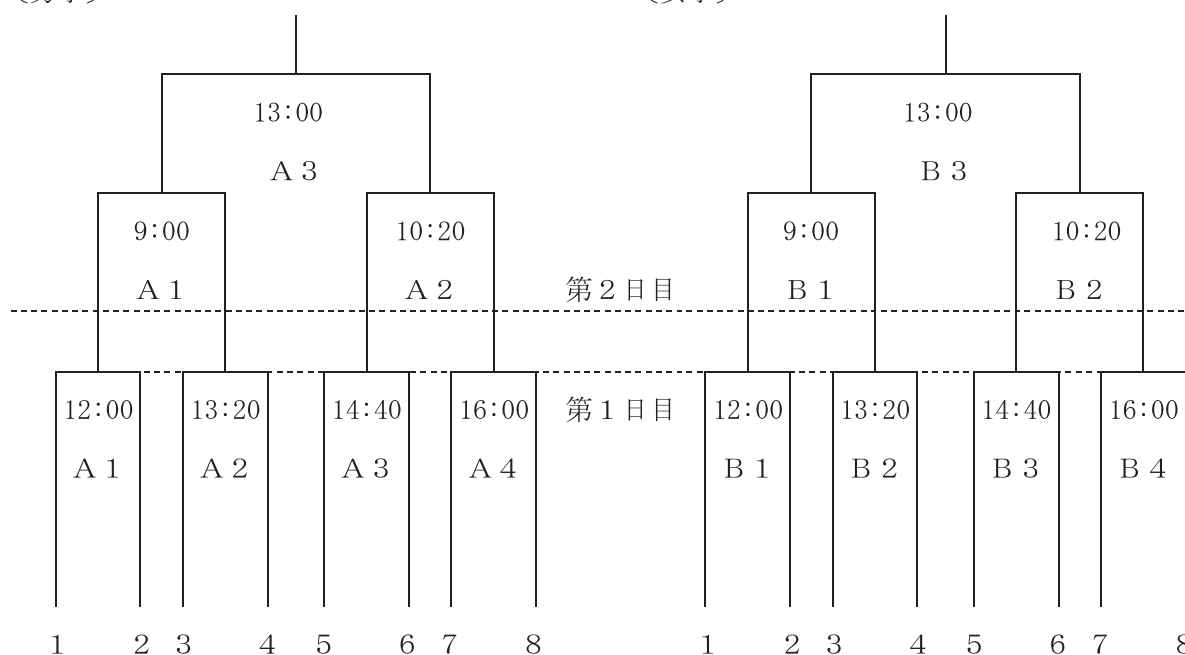
- (1) トーナメント方式とする。
- (2) 組合せ

A：松山コミュニティセンター(男子)

B：伊予市民体育館(女子)

[男子]

[女子]



【軟 式 野 球】

1 参加規程

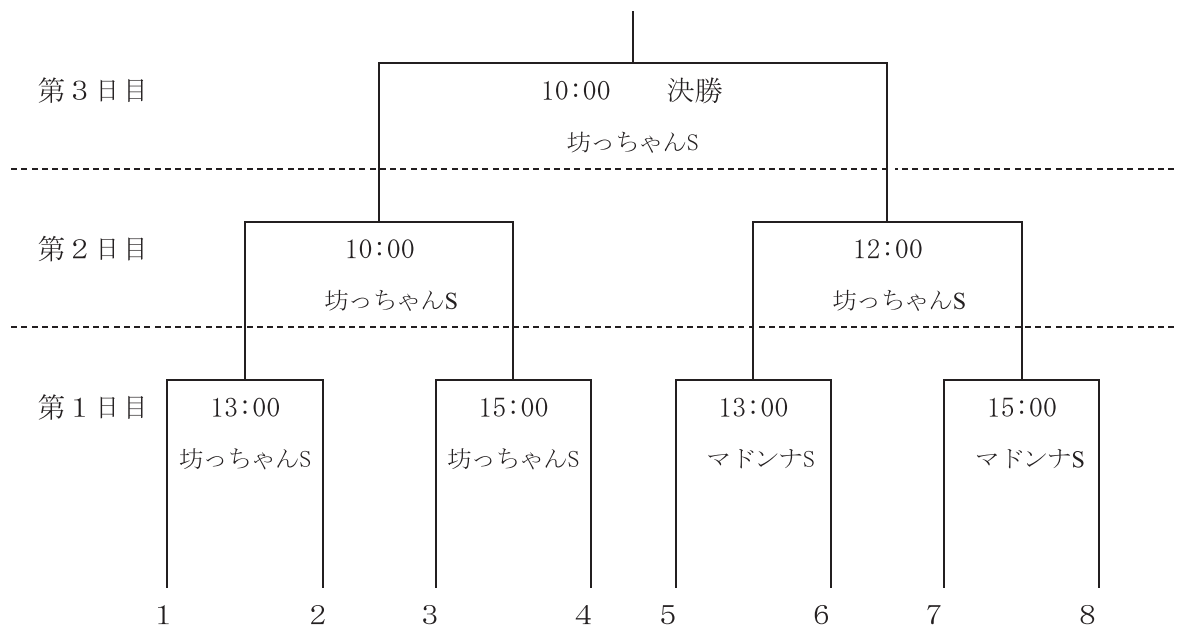
- (1) 各県2チームとする。
- (2) 1チームの編成は、監督（引率責任者）1名、選手18名以内（スコアラーを含む）とする。この他に教員を2名追加することができる。但し外部コーチが入る場合は、1名とし、計21名以内とする。なお、監督は背番号30をつけるものとする。（部活動指導員は、教員と同様の登録で認識する）

2 競技規則

- (1) 当該年度公認野球規則及び大会特別規定による。
- (2) 大会特別規定は、別に定める。
- (3) 使用球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認M号球とする。
- (4) その他の使用器具は、(公財)全日本軟式野球連盟公認(JSBBの刻印)のものとする。

3 競技方法

- (1) 全試合トーナメント方式とし、各試合7回戦とする。
- (2) 得点差によるコールドゲームは全試合適用する。
- (3) 7回を完了して同点の場合は、特別延長戦を行う。
- (4) 背番号は1～18とし、原則としてポジション別とする。
- (5) 全試合について大会特別延長戦を適用する。
- (6) 組み合わせ



※ 坊っちゃんS…坊っちゃんスタジアム，マドンナS…マドンナスタジアム

※ 開会式は，行わない。

【大会特別規定】

【試合前】

- 1 監督に引率されたチームは、試合開始予定時刻 1 時間前までに到着し、その旨を大会本部に申し出る。試合予定時刻になってもチームが到着せず、それらについて何ら連絡がない場合には棄権とみなす。ただし、交通事情による到着遅延については、大会本部で協議し決定する。
- 2 第 1 試合のメンバー用紙交換および攻守決定は、試合開始予定時刻の 40 分前とする。第 2 試合以降は前試合の 4 回終了時とする。各チームの監督と主将は、メンバー表を持って、本部 1 名と担当審判員とで打ち合わせをする。（必要部数は 6 部）メンバー表交換後、先発投手に限り、試合に差し支えないようにブルペンでの投球練習を許可する。
- 3 ベンチは抽選番号の若い方を 1 塁側とする。
- 4 シートノックについては以下の通りとする。
 - ① 時間は 7 分以内とする。
 - ② 後攻のチームが先に行う。
 - ③ 監督・コーチ・登録選手の他に 3 名の補助員をつけて行うことができる。ただし、ノッカーへのボール渡しをする者は、必ずヘルメットを着用すること。（サイドノック含む）
 - ④ ノッカーは、選手と同一のユニフォーム・スパイク（色は白または黒、アップシューズ可）を着用する。※コーチがユニフォームを着用しない（外野ノック可）場合はその限りではない。
 - ⑤ 外野へのノックの際、ノッカーは芝生部分を避けて打つ。
 - ⑥ マウンドでの投球練習や守備練習は認めない。
- 5 バット・マスク・ヘルメット等の用具は、試合前に審判の確認に応じなければならない。
- 6 試合開始前の挨拶は、ファールライン手前に整列して行う。

【試合中】

- 7 コールドゲームは、5 回表もしくは 5 回以降 7 点差の生じた場合に適用する（決勝戦含む）。試合時間の制限は行わない。
- 8 暗黒・降雨・雷などの悪天、日没のため試合続行ができなくなった場合は、原則として再試合にせず、翌日の第 1 試合に先立って特別継続試合（サスペンデッドゲーム）を行う。
- 9 攻守交代は全力疾走で行い、先頭打者とベースコーチは、ミーティングに参加せず、直ちに所定の位置につくこと。
- 10 攻守交代のとき、投手またはプレートに最も近い野手が、球を投手板近くに置くこと。
- 11 試合中の球場内では、次打者以外は素振りなどをしてはいけない。その際、投手の投球が始まったら、素振りを止めること。
- 12 投手の準備投球は、初回と投手交代のときは 7 球以内とするが、2 回以降は 3 球とする。
- 13 メガホンの使用は、監督の 1 つのみとする。
- 14 選手交代の申し出は、監督が行う。コーチは試合前のノックを行うとき以外は、ベンチから出ないものとする。
- 15 審判員に対して、規則適用上の疑義については、当事者と監督が直接、質問することができる。
- 16 走者のいるときに、投手が球を持たないで投手板のすぐそばに立ち、野手が隠し球の行為をしようとし

たとき、明らかに相手チームが気づいている場合は即注意をし、球を投手に戻させる。

- 17 突発事故が起きた場合に、一時走者を代えたいときは球審に申し出て、審判員が必要と認めた場合は、これを許可する。また、投手の投げたボールが打者の頭部に当たった際は、投手のボールの球質・球種に問わずその打者に代走をおくる。臨時代走には、投手・捕手は除くものとする。なお、臨時代走は、当該打者の回復をもって終了はなく、臨時代走がアウトになる・イニング終了・得点するこのいずれかまで行うものとする。臨時代走は、投手・捕手を除く打者前位の者とする。
- 18 試合進行上、打者席を外すことや、無用なタイムは慎み、サインは打者席から見るなどスピーディな試合進行を心掛ける。ボール回しは、試合の進行上禁止することがある。
- 19 本塁打を打った打者に握手を求めるために、グラウンドに出てはいけない。
- 20 危険防止のため、次のことを徹底する。
- ① バットリング、鉄棒等の球場への持込を禁止する。
 - ② 足を上げてのスライディングは禁止し、現実には妨害になった場合は、走者をアウトにする。
 - ③ 捕手のレガース・プロテクター・ヘルメット・スロートガードと、打者と走者の両耳付きヘルメットは必ず着用すること。また、リストバンド及びハイカットストッキングの使用を禁止する。
- 21 「投手は、同一イニングで投手以外の守備位置についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることもできないし、投手に戻ってから投手以外の守備位置に移ることもできない」は適用しない。

[規則適用上の解釈]

中学校野球では、登録人員の関連で本規則を適用しないとしたものである。審判員は、これを作戦上の目的等、本来の趣旨からはなれて利用されることのないように、留意しなければならない。

- 22 交代して一度退いた選手は、ウォーミングアップなどの相手のほか、ベースコーチ、伝令も許される。
- 23 監督が投手のところに行く回数の制限（ベンチタイム 3度以内）
- ① 「投手のところに行く」とは、監督がタイムを取ってグラウンドに出て、投手または投手を含む野手が集まっている所で指示を与える状態を指す。投手の方からファールラインを超えて監督の指示を受けた場合も同じとする。
 - ② 伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与えて直接投手のところに行かせた場合もあてはまる。
 - ③ ボールデッド中で改めてタイムを取る必要がない状態の時も、同じ行為であればあてはまる。
 - ④ 監督が、同一イニングに同一投手のところへ2度目に行った場合、投手は交代となる。但し、交代した投手が他の守備位置につくことは許される。
 - ⑤ 監督は1イニングに同一投手であれば交代なしで1度行くことができる。ただし、試合進行に関わり、必要がないのにタイムを取ることは慎む。
 - ⑥ 相手チームのタイム中に投手のところへ行くことは差し支えないが、プレイの再開を遅らせた場合は、投手のところへ行ったことと見なされる。
- 24 守備のタイムに関わる制限（選手タイム）
- ① 捕手を含む内野手が投手のところへ行き守備のタイムを取る回数は、7イニングの試合にあっては3度以内とする。
 - ② 野手（捕手も含む）が投手のところへ行った場合、そこへ監督が行けば、双方一度として数える。投手交代の場合はその回数に含まない。
 - ③ ボールデッドで改めてタイムを取る必要がない状態の時も、同じ行為であれば回数に数える。
 - ④ 延長戦となった場合は、2イニングに1度とることができる。

- ⑤ 監督がタイムを取った場合は、選手の取った回数に含めない。
 - ⑥ 集まれるのは投手と捕手を含めた内野手、伝令だけとする。
 - ⑦ 試合進行に関わり、必要でないのにタイムをとることは慎む。
- 25 7回を完了して同点の場合は、次のようなタイブレークを行い、勝敗を決定する。
(勝敗が決するまで継続する)

〈タイブレーク方式〉

継続打順で前回の最終打者を一塁走者とし、二塁の走者は順次前の打者とする。すなわち無死一・二塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。なお、通常の延長戦と同様に、規則によって認められる選手の交代は許される。

26 投手の投球制限

投手の投球制限については、肘・肩の故障防止を考慮し以下のように定める。

- ① 1日の投球数：100球以内 1週間の投球数：350球以内
- ② 試合中規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
- ③ タイブレークになった場合、1日規定投球数以内で投球できる。
- ④ 牽制球や送球とみなされるものは投球数としない。
- ⑤ 投球数の管理は、大会本部が行う。

27 応援団は次の禁止事項を守ること。なお、これについては各チームの監督が責任を持って指導すること。

- ① 紙吹雪・テープ・個人名を書いたのぼり等を禁止する。
- ② 相手チームをやじったり、相手チームに不利を招いたりするような応援をしない。
- ③ 応援席周辺を散らかさない。ごみは持ち帰る。
- ④ 球場の設備を傷つけたり、ゲームを妨害したりするような応援はしない。
- ⑤ スタンドでの応援は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、発声・太鼓・メガホン・ペットボトル等のすべての鳴り物の使用、ブラスバンドの演奏を禁止し、拍手のみの応援とする。

【試合後】

- 28 試合終了は、試合開始前の整列と同様に整列し、挨拶をもってすべて完了することとし、次の試合のために速やかにベンチをあけること。
- 29 各チームの監督は、球場を去る前（試合終了30分以内）に大会本部に連絡をし、次の日程などを確認する。

【その他】

- 30 コーチは平服（ワイシャツ・ネクタイまたは白いポロシャツおよび選手と同一の野球帽子）または、選手と同一のユニフォームとする。また、ノッカーを兼ねる場合には、上記4④の項目を確認すると共に、背番号29番、28番をつける。ただし、コーチが女性の場合は考慮する。（サングラスは使用しない）
- 31 コーチは、試合前のノック以外は、ベンチから出ないものとする。
- 32 選手のテーピングは、皮膚の色に近い色のものを用い、投手は投球に影響を与えるものは使用できない。また、リストガード、サポーター等を使用する場合は、メンバー交換時に本人を帯同し申し出ること。
- 33 イニング交代時などの予備捕手については、ヘルメット・マスクを着用する。また、いかなる時も投球練習を座って受けるときは、安全の為マスクを着用する。
- 34 選手の頭髪や身なりは中学生らしく、試合中はもちろんのこと、試合後においてもスポーツ選手らしく、

マナーについては十分に考慮する。

35 天候等による大会実施の可否、試合の中断及び日程の変更は、大会本部で決定し、連絡する。

36 ベースコーチは、ヘルメットを着用する。

37 メンバー交換後から、試合開始前の両チームの整列までの間に、スターティングメンバーが体調不良やケガなどの不慮の事態が生じた場合、メンバー記載の控え選手を交代出場させることができる。その際は、該当チーム監督がベンチから出て審判に直接報告に行く。なお、先発出場を取り下げた選手は、試合復帰が可能な状態になれば試合に出場できる。

38 3回、5回終了時に給水タイムとグラウンド整備（3分程度）を行う。

【体 操 競 技】

1 参加規程

(1) 団 体

各県 1 チームとする。(県大会で優勝した学校を県代表とする。)

チームは同一校 4 名と補欠 2 名をもって編成する。(最低構成人数は 3 名)

(2) 個 人

県大会における個人総合成績上位 4 名が出場権を得る。

4 名の中に団体チームの選手がいる場合、繰り上げとなる。

団体チームがない場合は、個人 8 名までの出場を認める。

2 競技規則

(1) 日本体操協会制定男子採点規則当該年度版中学男子適用規則を採用する。

(2) 日本体操協会制定女子採点規則当該年度版変更規則 I・女子体操競技情報最新版を採用する。

(3) 申込後、選手変更がある場合は、「変更届」を専門部長会で大会本部に提出する。

(4) 競技種目

(男子) ● ゆ か (広さ: 12m 平方 時間: 自由演技 ~ 75 秒)

● あ ん 馬 (高さ: 115 cm)

● 跳 馬 (高さ: 125 cm 1 助走 1 演技)

● 鉄 棒 (高さ: 275 cm)

(女子) ● 跳 馬 (高さ: 125 cm 3 助走 2 演技)

● 段違い平行棒 (高さ: 上棒 250 cm, 下棒 170 cm < 20cm マット >)

● 平 均 台 (高さ: 125 cm < 20 cm マット > 長さ 5 m 幅 10 cm 時間 ~ 90 秒)

● ゆ か (広さ: 12m 平方 時間: ~ 90 秒)

3 競技方法

団体総合

男子 = 3 種目 (ゆか, 跳馬, 鉄棒) の自由演技の各種目のベスト 3 の合計とする。

女子 = 3 種目 (跳馬, 平均台, ゆか) の自由演技の各種目ベスト 3 の合計とする。

個人総合

男子 = 4 種目 (ゆか, あん馬, 跳馬, 鉄棒) の自由演技 計 4 種目の合計とする。

女子 = 4 種目 (跳馬, 段違い平行棒, 平均台, ゆか) の自由演技 計 4 種目の合計とする。

4 競技日程

○7月29日（金） 午後 セッティング（県内役員・補助役員）

○7月30日（土） 男 子

開 館 8：30

- (1)新体操練習 9：30～11：00
- (2)専門部長会 9：30～10：00
- (3)監督・審判会議 10：00～11：00
- (4)新体操競技 11：10～11：20
- (5)成績発表 11：25～11：30
- (6)男子練習 11：45～13：45

※30分ローテーション

- (7)男子競技 14：00～16：00
- (8)成績発表 16：15

○7月31日（日） 女 子

開 館 9：00

- (1)監督・審判会議 9：30～10：30
- (2)女子練習 10：00～12：00
- ※30分ローテーション
- (3)女子競技 12：15～14：15
- (4)カッティング 14：30～
- (5)成績発表 15：30

5 審判編成

男 子

	ゆ か	あん馬	跳 馬	鉄 棒
D1・E1	香：	徳：	高：	愛：
D2				
E2	高：	愛：	香：	徳：
線 審				
線 審				
計 時				

女 子

	跳 馬	段違い平行棒	平 均 台	ゆ か
D1・E1	香：	徳：	高：	愛：
D2				
E2	高：	愛：	香：	徳：
線 審				
線 審				
計 時				

6 その他

- (1) 男女各 2 名の審判を各県から帯同する。
- (2) 服装は、体操競技にふさわしいユニフォームを着用すること。

● 審判の服装 男：上…白 下…グレー（スラックス）

女：上…白 下…紺（スカート，スラックス）

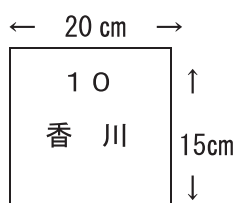
● 監督・チームリーダー・外部指導者は、短パン厳禁。

- (3) 団体チームの演技順序は、種目毎にオーダー表により行う。
- (4) 演技内容は、危険性のないようチームで責任を持つ。
- (5) 背番号を必ずつけること。

大きさ：たて 15 cm よこ 20 cm

男 子：白地に黒文字 女 子：白地に赤文字

背番号 県 名	団 体		個 人
	正選手	補 欠	県大会下位のものからつける
香 川	10～13	14～15	16 ～ 19
徳 島	20～23	24～25	26 ～ 29
高 知	30～33	34～35	36 ～ 39
愛 媛	40～43	44～45	46 ～ 49



- (6) チームの演技順は、抽選で決める。
- (7) フロアには、選手・監督（チームリーダー）及び各校 1 名のコーチ（コーチ証表示）が入ってよい。
- (8) 採点間の練習を認める。ただし、移動前の次種目の練習は認めない。
- (9) 演技前のアップ時間
女子：1 人跳馬 2 本，平均台・ゆか 30 秒，段違い平行棒 50 秒以内とする。
男子：1 人 30 秒とする。
- (10) 女子個人出場の選手には、1 名の音楽係をつけてよい。
- (11) 競技規則に従い、ピタリマットを入れる。ピタリマットがない場合は、普通のセーフティーマットの使用も可とする。
- (12) 会場により、器械の規格，高さ，マットの厚さ等，完全には対応できない場合がある。

【新 体 操】

—女子—

1 参加規程

(1) 団体

各県2チームとする

1チーム5名とし、3名の補欠を申し込むことができる。＊必要最低人数5名

(2) 個人

個人は各県3名とする。

2 競技規則

(公財)日本体操協会制定 新体操競技規則当該年度版ジュニアルール及び、当該年度中体連ルール(ホームページ確認)を適用する。

団体及び個人の選手は、それぞれの学校を示す標識(マーク)を前面ウエストより上につける。

マークの大きさは、3cm×3cm以上の大きさとする。(団体は同一のマークであること)

3 競技種目及び競技方法

(1) 団体は、自由演技のみとし、手具は「ボール5」とする。

(2) 個人は、自由演技のみとし、手具は「クラブ・リボン」とする。

(3) 演技時間 団体女子：2分15秒～2分30秒とする。

個人：1分15秒～1分30秒とする。

4 その他

(1) 演技順序は、抽選による。

(2) 審判員は各県より4名派遣する。(1名は各県専門部長とする)

(3) フロアーマット(アンダーマット有り)を使用する。

(4) 音響は、各学校で準備する。

(5) 撮影許可書を希望する学校は、必要部数を参加申込書に記入する。

(6) ビデオ、カメラの撮影は撮影許可証を持った人のみとする。(無観客になった場合は変更あり)

(7) 外部コーチは外部コーチ証をつけること。ただし、試合の際、コーチの活動は、公式練習場に限る。

(8) 申込み後、登録選手に変更がある場合は、「変更届」を監督会議にて本部に提出すること。

(9) 団体終了後、個人練習時間までを20分とする。

(10) 審判は、年度ごとに、縦列で右にローテーションする。

(11) 会場掲示用校名を表す旗は、各校一枚のみとし、部旗は学校名など団体名とする。個人名は禁止、全国大会に出場する者の大きさは、当該年度の大会要項に準ずる。

審 判			1	2	3	4
	女子団体 ・ 女子個人 クラブ・リボン	D B	香川	高知	愛媛	徳島
		D A	愛媛	徳島	香川	高知
		A	高知	愛媛	徳島	香川
		E	徳島	香川	高知	愛媛

—男子—

1 参加規程

(1) 団体

各県 2 チームとする。

1 チーム 6 名とし、2 名の補欠を申し込むことができる。

(2) 個人

実施しない。

2 競技規則

(公財) 日本体操協会制定 当該年度適用男子新体操規則を採用する。

3 協議種目及び競技方法

(1) 団体は自由演技とする。

(2) 演技時間は 3 分以内とする。

【バレーボール】

1 参加規程

各県男女各2チームとする。

2 競技規則

- (1) 当該年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則及び、（公財）日本中体連バレーボール競技部競技規則に準じて行う。

※ リベロプレーヤーについては、一般と同様の「リベロリプレイスメント」ルールで行う。

（取扱いの詳細は、（公財）日本中体連バレーボール競技部のホームページを参照すること。）

- (2) ネットの高さは、男子2m30cm、女子2m15cmとする。

- (3) ボールは4号球で、人工皮革・カラーボールとする。

- (4) ラインアップシートは、試合ごとに作成し、提出すること。

- (5) ベンチに入る者は、選手12名以内と監督、コーチ、マネージャー（生徒に限る）各1名とする。

監督・コーチは、当該校の校長・教員・部活動指導員であり、引率者としての責任を負う。

コーチが外部指導者（コーチ）の場合は、当該校の校長が認めた者で、外部指導者（コーチ）証をつけること。

※ 監督・コーチの服装は、統一されたものとする。（短パン・ランニングは不可）

- (6) ユニフォームについては、規定を遵守すること。

（取扱いの詳細は、（公財）日本中体連バレーボール競技部のホームページを参照すること。）

- (7) 3位決定戦は行わない。

- (8) 給水のためのタイムアウトを採用する。

（取扱いの詳細は、（公財）日本中体連バレーボール競技部のホームページを参照すること。）

3 競技方法

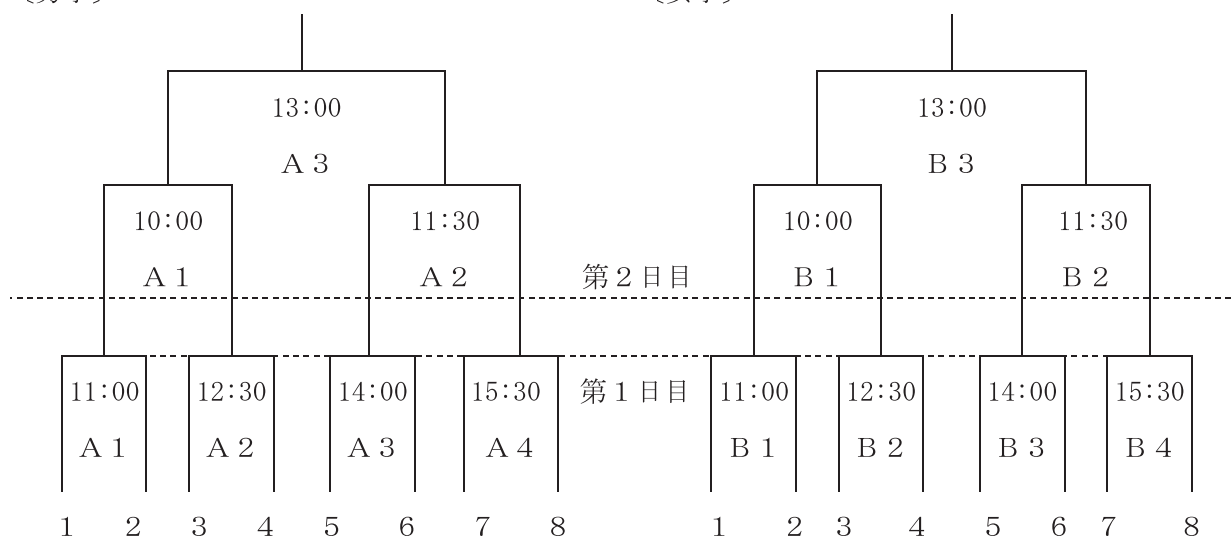
- (1) トーナメント方式とする。

- (2) 設定時刻は、試合開始時刻とする。

- (3) 組合せ

〔男子〕

〔女子〕



【ソフトテニス】

1 参加規程

(1) 団体戦

各県男女各2チームとする。各県の団体戦の成績順位で、上位2チームを選ぶ。

(2) 個人戦

各県男女8組。各県の個人戦の成績順位で、上位8組を選ぶ。

2 競技規則

(1) 競技規則は現行の(公財)日本ソフトテニス連盟競技規則及び大会開催要項による。

(2) 使用球は公認球(白)を使用する。団体戦は男女ともケンコーボール、個人戦は男子アカエムボール、女子ダンロップボールを使用する。

(3) ユニフォームは、上は半袖のスポーツシャツ(襟なし可)、膝より上のパンツ、スコート(ショートパンツ)を着用すること。

[注意] 服装(用具を含めて)の色等は華美にならないようにする。

(アンダーウェアは黒、白、ベージュ色の単色とし、文字(メーカーロゴ除く)や模様のないものとする。)

(4) テニスシューズを必ず履くこと。

(5) 監督がベンチに入る時は、スポーツウェアを着用し、テニスシューズを必ず履くこと。また、監督は常にIDを付けること。ゼッケンは不要とする。

(6) 外部指導者(コーチ)のベンチ入りを認める。IDの他に【外部指導者(コーチ)証】を所持すること。

(7) 選手変更について

① 個人戦で1名が病気等で出場不可能になった場合は、「変更届」を監督会議で提出する。

② 団体戦で、申し込み後、メンバーを変更し直す場合は、「変更届」を監督会議で提出する。

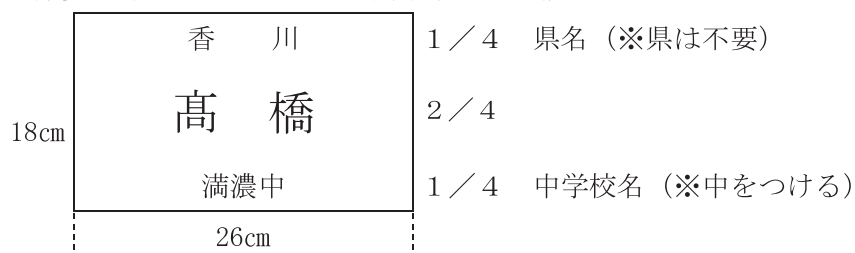
(8) ハチマキには正面に特別な文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。ただし、ハチマキの端の部分に「学校名・名前」を記入してもよい。帽子・サンバイザーもこれに準ずる。

(9) 背中のゼッケンを各校で別の布などで作成し、背中の中央につける。ただし、四隅を留めるものとする。

① ゼッケンはB5版横(白地)の大きさの布に都道府県名、姓、学校名を3段で記述する。また、県名の「県」の文字はつけず、中学校の「中」の文字はつけるものとする。

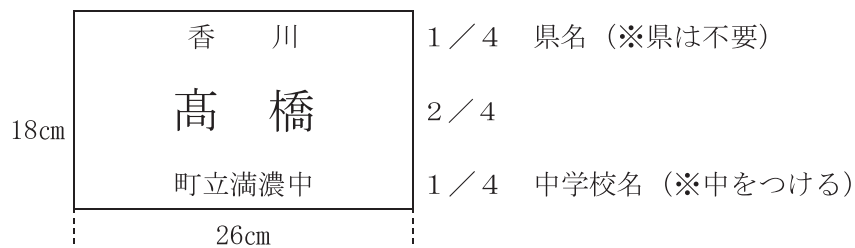
② ゼッケンの文字は「漢字」、「ひらがな」、「カタカナ」を使用し、文字色は「黒」とする。シャツそのものへのプリントは認めない。

《例1》香川県 仲多度郡 まんのう町立満濃中学校 高橋 正



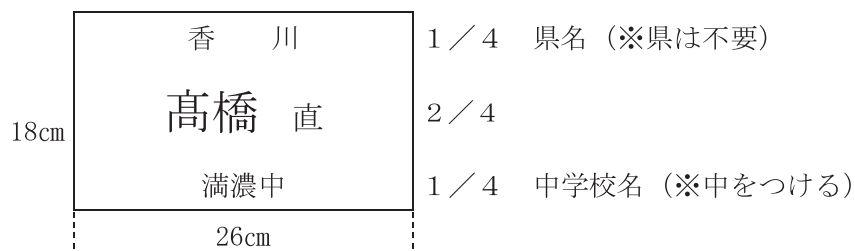
- ③ 県内で同名の中学校がある場合には、区別するために中学校名の工夫をしてもよい。（各地区ごとに望ましい表記をする。）

《例 2》香川県 仲多度郡 まんのう町立満濃中学校 高橋 正



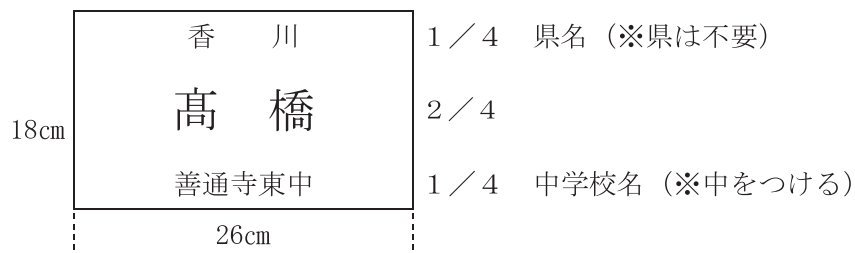
- ④ ゼッケンの文字の位置は《例 1》どおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一文字を付け加える。

《例 3》香川県 仲多度郡 まんのう町立満濃中学校 高橋 直子



- ⑤ 中学校名が第一・第二中学校や東・西・北・南中学校のような場合には、学校名を分かりやすくするために学校所在地を付記してもよい。

《例 4》香川県 善通寺市 善通寺市立東中学校 高橋 正



3 競技方法

- (1) 団体戦は各県から選抜された男女各 8 校（監督 1 名と選手 6 名で 1 チーム編成登録 8 名以内）によるトーナメント方式の団体点取法。※必要最低選手数 4 名
- (2) 個人戦は各県から選抜された男女各 32 組によるトーナメント方式。
- (3) 個人戦が重なった場合のみ、当該校の教員（部活動指導員）及び各県ごとに登録された外部指導者（コーチ）を監督として複数付けることができる。
- (4) その際には、監督追加届を提出すること。
- (5) ゲーム数は 7 ゲームとする。
- (6) 試合開始時刻は、次のとおりとする。

（第 1 日目） 11：00～ 開会式

（第 2 日目） 9：00～ 開始式

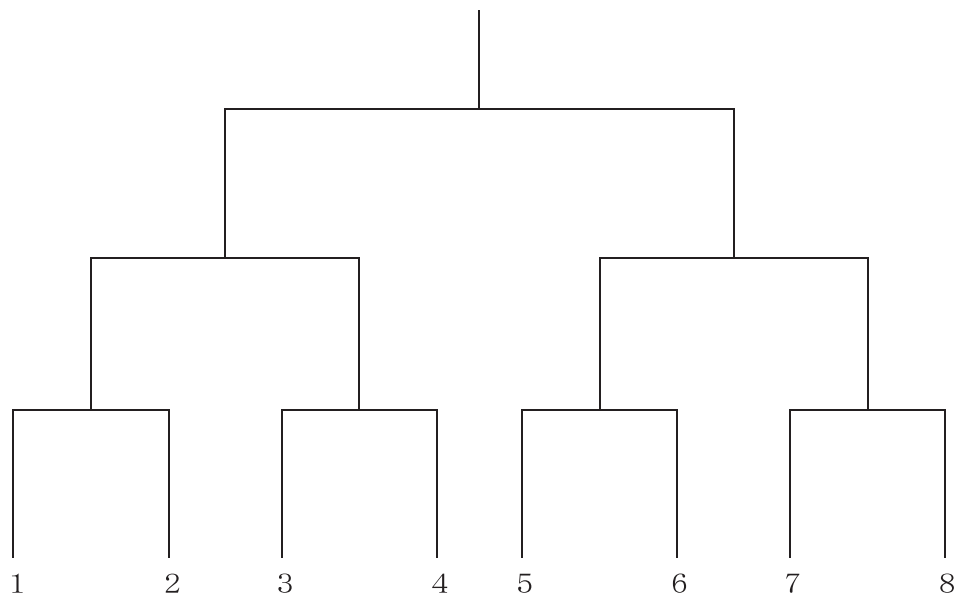
11：30～ 団体戦

9：30～ 個人戦

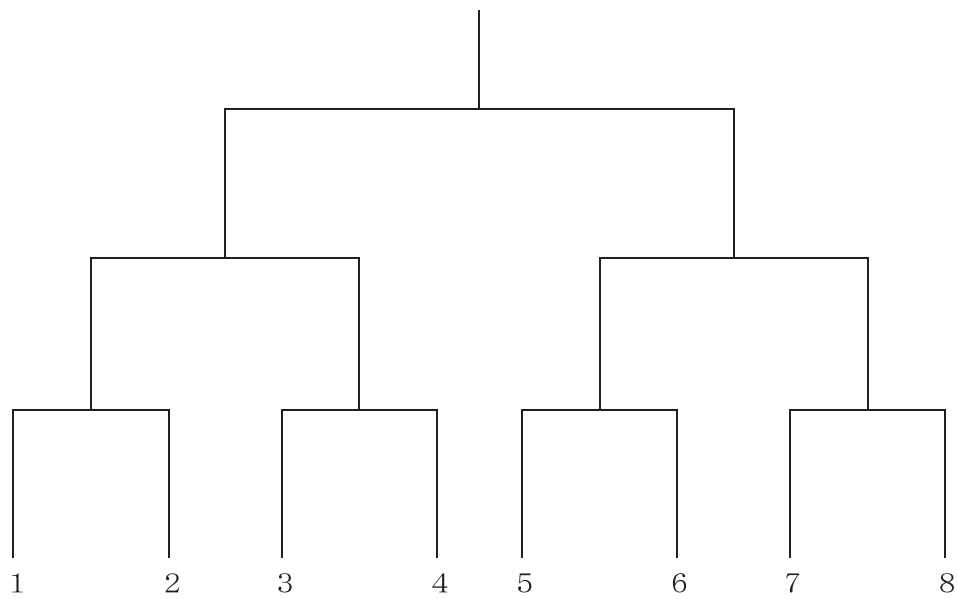
※ 個人第 5 代表決定戦は、準々決勝で敗れた 4 組で抽選を行い、トーナメント方式で決定する。

(7) 組合せ

〔男子〕



〔女子〕



【 卓 球 】

1 参加規程

(1) 団体戦

各県男女3チームとする。(選手8名以内、監督1名で編成)

- * 必要最低選手数 6名(全校生徒が卓球部の場合は4名)
- * 監督の他にアドバイザーとして、出場校の教職員(部活動指導員含む)または校長の承認を得た外部指導者(コーチ)1名のベンチ入りを認める。

(2) 個人戦

各県男女上位10名とする。

- * アドバイザーとして、選手1名につき1名のベンチ入りを認める。但し、校長、教職員(部活動指導員含む)、生徒、校長の承認を得た外部指導者(コーチ)のいずれかとする。

2 競技規則

- (1) 現行の日本卓球協会が制定したルールによる。
- (2) 試合球は40mm、ホワイトボール(硬式認定球)とする。
プラスチック球とする。
- (3) ユニフォームは、JTTA(日本卓球協会)のマークが入っている公認ユニフォームを着用する。
- (4) ゼッケン

- ① 出場選手は、ユニフォーム背部に、白布に選手名(姓)・県名・学校名を記入したゼッケンを必ずつけて出場する。

- ② ゼッケンは、日本卓球協会交付のものでもよい。

25 c m	
選手名(姓)	12.5 c m
県 名	4 c m
学校名	6 c m

- (5) 選手、監督、アドバイザーに変更がある場合は、監督者会議で「変更届」を提出すること。

3 競技方法

(1) 試合日程

<第1日目>

- ① 12:00 ~ 団体戦予選リーグ(5番まで)
- ② 終了後 団体戦決勝トーナメント1回戦(3点先取)

<第2日目>

- ① 9:00 ~ 団体戦決勝トーナメント準決勝・決勝及び代表決定戦(3点先取)
- ② 12:00 ~ 個人戦

(2) 団体戦

- ① 3チームずつのW組, X組, Y組, Z組の4リーグに分けて予選を行う。
- ② 各リーグに同県チームが入らないように抽選し, 試合順序は次のとおりとする。

	(Ⅰ)	(Ⅱ)	(Ⅲ)
W	A 1	B 2	C 3
X	B 1	C 2	D 3
Y	C 1	D 2	A 3
Z	D 1	A 2	B 3

※ 試合順序

第1試合 (Ⅱ) - (Ⅲ)

第2試合 (Ⅰ) - (Ⅱ), (Ⅲ)の敗者

第3試合 (Ⅰ) - (Ⅱ), (Ⅲ)の勝者

- ③ 予選リーグ終了後, 各リーグの1位・2位チームは, 決勝トーナメントへ進出する。
(1日目は, 1回戦まで行う。)

(ア) 各リーグの1位チームから抽選する。

* 勝ち上がりの多い県から抽選する。(同数の場合はジャンケン)

* 同県チームは, 左右に分ける。

(イ) 各リーグの2位チームは, 次のことに考慮して抽選する。

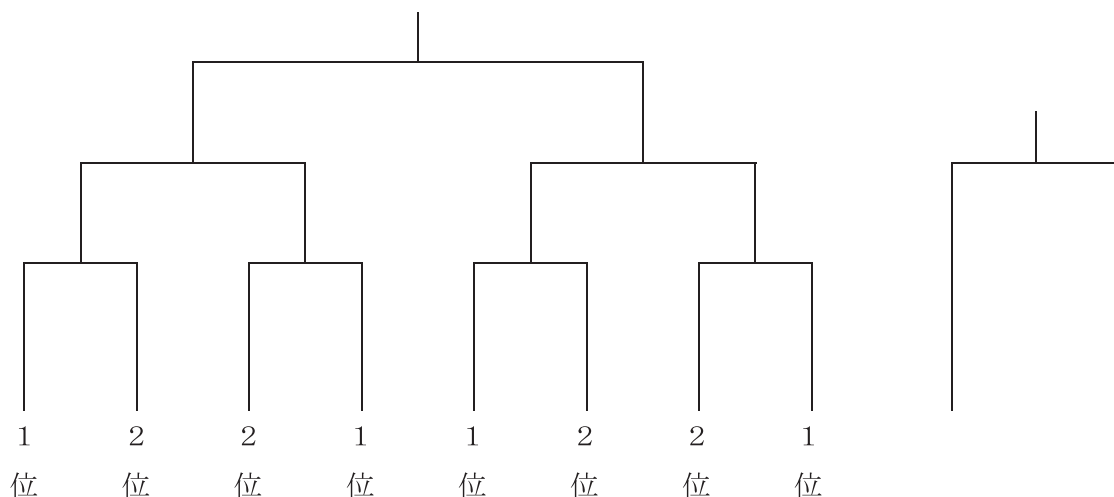
* 1回戦での同県対戦は避ける。

* 1回戦での同リーグ対戦は避ける。

- ④ 2日目は, 決勝トーナメント準決勝より始め, 決勝及び代表決定戦を行う。

<決勝トーナメント>

<代表決定戦>



- ⑤ 4シングルス・1ダブルスで, 3番目にダブルスをおく。
- ⑥ 予選リーグはすべて5番まで行い, 決勝トーナメント・代表決定戦は3点先取法とする。
- ⑦ シングルスとダブルスは重複できない。

(3) 個人戦

シングルスのみとし, トーナメント方式による。

【バドミントン】

1 参加規程

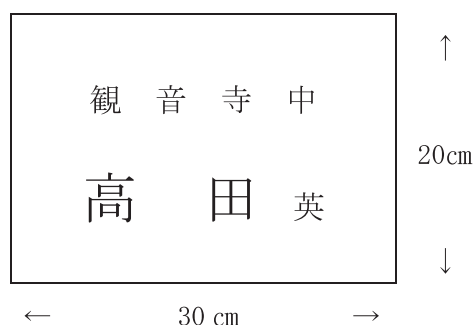
- (1) 各県男女とも次のとおりとする。

	高 知	愛 媛	香 川	徳 島	合 計
団体戦	2	2	2	2	8
個人戦シングルス	3	3	3	3	1 2
個人戦ダブルス	3	3	3	3	1 2

団体構成 … 団体戦チームは監督 1 名，コーチ又はマネージャー 1 名，選手 5 ～ 7 名を同一校で結成する。※必要最低選手数 5 名

2 競技規則

- (1) 当該年度（公財）日本バドミントン協会競技規則・同大会運営規程及び同公認審判員規程による。
- (2) シャトルは、室温に適した（公財）日本バドミントン協会第 2 種検定合格水鳥球を使用する。
- (3) 外部指導者（コーチ）については、所属校長が認めた外部指導者（コーチ）証を胸につけた者に限る。
- (4) 競技時の服装は、色つき着衣を使用する場合は、（公財）日本バドミントン協会審査合格ウェアとする。
- (5) 上衣の背面中央部には、たて 20cm，横 30cm の範囲内に校名及び姓の表示をすること。また、黒か紺の日本文字（楷書）で明記すること。同姓の場合は、名前の 1 字目を小さく入れる。



- (6) コーチは、マッチ（試合）にふさわしい服装で臨む事。チームユニフォーム・シャツ・ポロシャツ・ブラウス、長ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチスタイル、バミューダ、ショーツ、スリッパやサンダル等は禁止とする。

3 競技方法

- (1) 男女とも学校対抗団体戦及び個人戦を行う。
- (2) 団体戦，個人戦ともトーナメント方式で行う。
- (3) 個人戦は，第 3 代表決定戦を行う。
- (4) 団体戦は，複 2 単 1 の対抗とし，複・単・複の順に行う。
（同一選手が，単と複，複と複を兼ねて出場できない）

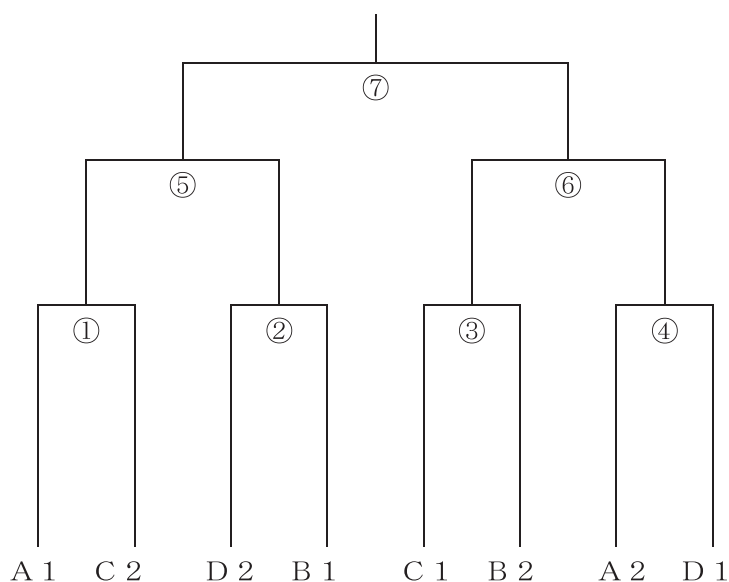
(5) 個人戦は、単と複を兼ねて出場することはできない。

(6) 競技日程は、次のとおりとする。

- ① 1日目 開会式 団体戦
- ② 2日目 個人戦 閉会式

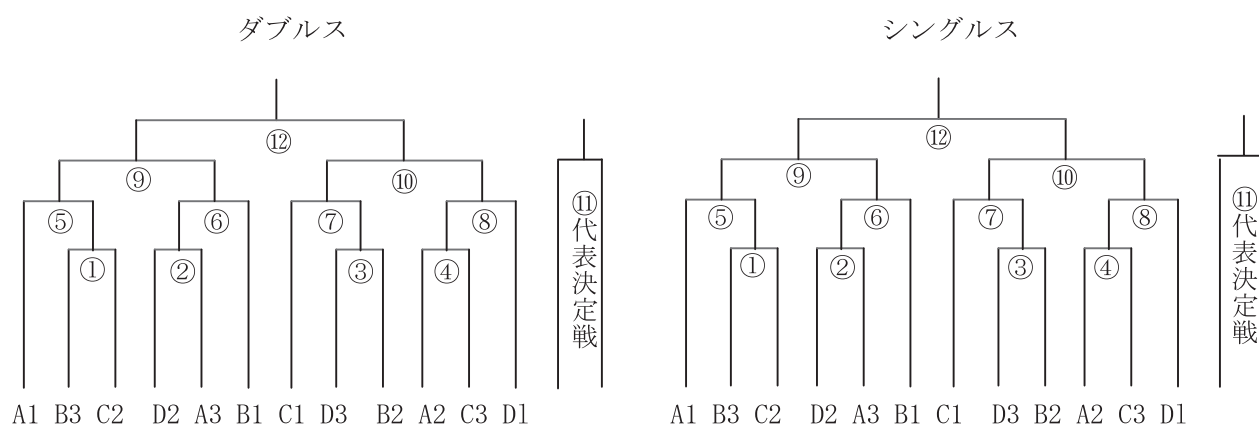
(7) 団体戦の試合方法は、次のとおりとする。

〔男子・女子〕



(8) 個人戦の試合方法は、次のとおりとする。

〔男子・女子〕



4 その他

- (1) 団体戦における負傷・疾病などによる選手の変更は、「変更届」（理由を記入）を当日の受付時に提出すること。
- (2) 個人戦における選手の変更は認めない。

【ソフトボール】

1 参加規程

各県男女各2チームとする

2 競技規則

- (1) 本大会は当該年度（公財）日本ソフトボール協会オフィシャル・ソフトボール・ルールによる。
- (2) プレイヤーは18名（スコアラー1名を含む）とし、他のベンチ入りは、引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、合計21名以内とする。
- (3) フィールドイングは、競技場に入ることを許されたメンバー（プレイヤーは18名以内）で行わなくてはならない。
- (4) 試合開始予定時刻30分前までに当該球場に集合すること。
- (5) 安全のため、金属製及びセラミック製のスパイクの使用は禁止する。
- (6) 同一チームの監督・コーチ・プレイヤーのユニフォームは、同色・同意匠でなければならない。また、背中と胸下にユニフォームナンバーをつける。監督は30、コーチは31・32、主将は10とする。ただし、引率責任者及び監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。また、コーチは所属学校の校長または教員、または、校長の承認を得てコーチ登録をした者に限る。所属学校の校長または教員以外のコーチは、胸に指定の記章をつけなければならない。また、コーチにはフィールドイングは認めるが、選手交代・打ち合わせ・抗議等の権限は認めない。また、ベンチから出て指示することも認めない。
- (7) 捕手は、スロートガード付きマスク、捕手用ヘルメット、ボディプロテクター、両足に膝当て付きレガースを着用しなければならない。なお、準備投球の時、競技場内のいかなる場所で投球練習するときも必ずスロートガード付きマスク、捕手ヘルメットを着用しなければならない。
- (8) 打者・打者走者・走者・次打者・ベースコーチは、ヘルメットを着用しなければならない。
- (9) 1・3塁のベースコーチは、プレイヤーのみとする。
- (10) チームのメンバーは、声を出したり、動作で投球のコースを教えたりしてはならない。
- (11) 試合終了後のあいさつですべて完了とし、次の試合のためにベンチを速やかにあける。なお、対戦チーム、バックネット裏へのあいさつは一切行わない。
- (12) 役員テント、本部テントに大会関係者以外は入れない。
- (13) 監督会議には、ユニフォームを着用して出席すること。

3 競技方法

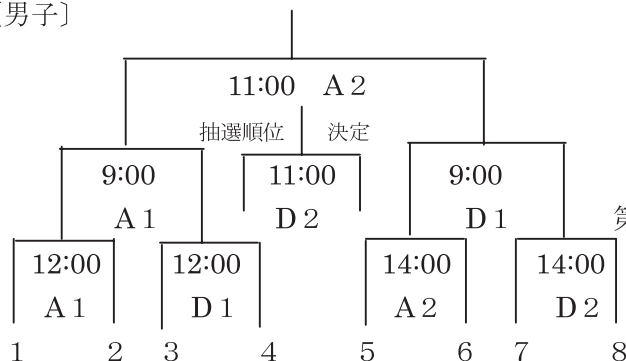
- (1) 試合方法は、トーナメント方式とし、男子は抽選順位決定戦を行う。

- (2) 試合会場は、次の通りである。なお、今年度は、開会式は行わない。

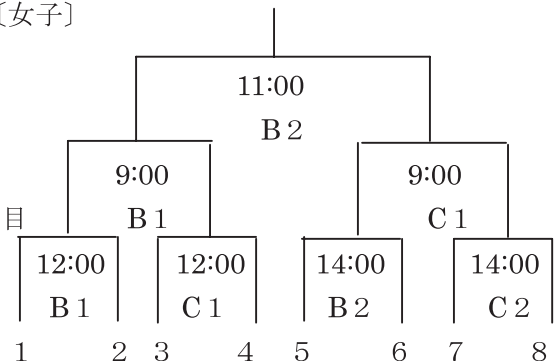
男子：吉野川北岸運動広場
A 球場・D 球場

女子：吉野川北岸運動広場
B 球場・C 球場

- (3) 組合せ
〔男子〕



〔女子〕



4 その他

大会参加申込書提出後の選手の変更は認めない。また、全国大会の参加選手は、ブロック大会に参加した選手に限る。

【 柔 道 】

1 参加規程

(1) 団 体 戦

① チーム編成

各県男女各 2 チームとする。

男子………監督 1 名、コーチ 1 名、選手 7 名以内とする。（3 名以上での出場も認める。）

女子………監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4 名以内とする。（2 名での出場も認める。）

② 選手オーダーは、大将より体重の重い順に編成する。交代の選手と入れ替えた場合においても同様に体重順とする。（一度退いた選手の再出場は認めない。）

(2) 個 人 戦

① 各県各階級 4 名で男子 32 名、女子 32 名、計 64 名とする。

〔男子〕 〔女子〕

●50kg級 (50kg以下)

●40kg級 (40kg以下)

●55kg級 (50kg超～55kg以下)

●44kg級 (40kg超～44kg以下)

●60kg級 (55kg超～60kg以下)

●48kg級 (44kg超～48kg以下)

●66kg級 (60kg超～66kg以下)

●52kg級 (48kg超～52kg以下)

●73kg級 (66kg超～73kg以下)

●57kg級 (52kg超～57kg以下)

●81kg級 (73kg超～81kg以下)

●63kg級 (57kg超～63kg以下)

●90kg級 (81kg超～90kg以下)

●70kg級 (63kg超～70kg以下)

●90kg超級 (90kg超)

●70kg超級 (70kg超)

(3) 体重測定

① 団体戦・個人戦出場者の体重測定は、下記の時間内に競技会場で行う。

② 1 日目 8 : 10 ～ 10 : 40 (団体・個人体重測定)

2 日目 7 : 40 ～ 8 : 40 (個人体重測定・前日計量未実施者のみ)

※ 出場者は全身体重測定を受けなければならない。

2 日程

(1) 令和 4 年 7 月 3 1 日 (日)

- | | | |
|---|--------------|---------------|
| ① | 開場 | 8:00 |
| ② | 体重測定 | 8:10 ～ 10:40 |
| ③ | 専門部長会 | 9:20 ～ 10:10 |
| ④ | 審判会議 | 10:20 ～ 10:40 |
| ⑤ | 監督会議 | 10:50 ～ 11:20 |
| ⑥ | 開会式 | 11:30 ～ 11:50 |
| ⑦ | 競技開始 | 12:00 |
| ⑧ | 競技終了後 団体戦表彰式 | |

(2) 令和4年8月1日(月)

- | | | |
|---|-------------------|-------------|
| ① | 開場 | 7:30 |
| ② | 体重測定 | 7:40 ～ 8:40 |
| ③ | 専門部長会 | 7:50 ～ 8:10 |
| ④ | 審判会議 | 8:20 ～ 8:40 |
| ⑤ | 監督会議 | 8:50 ～ 9:20 |
| ⑥ | 競技開始 | 9:30 |
| ⑦ | 競技終了後 個人戦表彰式及び閉会式 | |

3 競技規則

(1)国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」による。

(2)(公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。女子の黒帯使用は、白線なしの黒帯を使用すること。

(3)柔道衣は白色とする。

4 競技方法

(1)団体戦

- ①男女とも、4チームずつのA・B2リーグに分けてリーグ方式を行う。
- ②各リーグに各県1位チーム2校、2位チーム2校を含み、同県が入らないように抽選する。
- ③リーグ方式終了後、Aリーグの1位チームとBリーグの2位チーム、Bリーグの1位チームとAリーグの2位チームを組み合わせ、決勝トーナメント方式を行う。

※選手変更は、基本的に前試合開始までに所定の場所にて受け付ける。

- ④試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ⑤勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
- ⑥優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」＝「反則勝ち」>「技あり」>「僅差」

⑦リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、リーグ方式の順位は次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。

ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。

エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。

オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。

カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する(3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う)。

⑧トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち数による。

イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。

ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

⑨代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。

⑩代表選で両者反則負けの場合には、チームは次の試合に進めない。

(2) 個人戦

①男女とも、各階級16名までによるトーナメント方式で行う。但し、参加人数が6名以内の場合はリーグ方式とする。

②試合時間は3分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。

③勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。得点差が無い場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦（ゴールデンスコア）で新たに差がついた時点で勝敗が決する。

5 柔道衣点検

(1) 公式計量に引き続き、柔道衣点検を行う。

①（公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。

(2) 柔道衣に必ずゼッケン（学校名・名字入り）を縫い付けて出場すること。

①布地は白（晒、太綾）とする。

②サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。

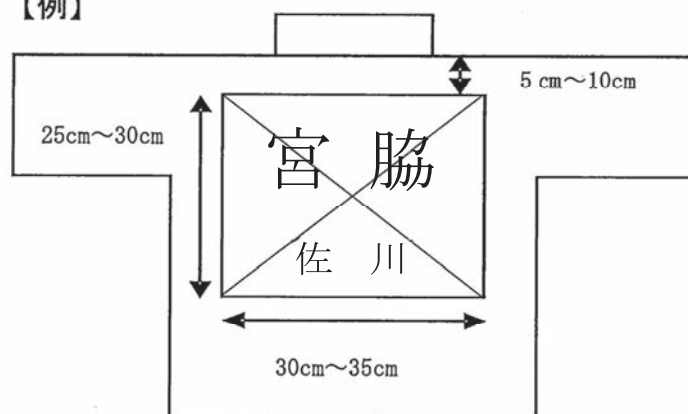
③名字（姓）は上側2／3、学校名は下側1／3とする。

④書体は太字ゴシック体とする（明朝または楷書でもよい）。

⑤文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。

⑥縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

【例】



(3) 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。

※ Tシャツのマーキングについては、（公財）全日本柔道連盟が定める規程（平成25年4月1日より施行）に準ずる。

(4) 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。

(5) 胸マーキング等について、道場名等は不可とする。

6 その他

(1)監督及びコーチは、次のとおりとする。

①監督は、出場校の校長・教員（非常勤講師は除く）又は部活動指導員であること。

②大会では外部指導者（コーチ）をおくことができる。但し、外部指導者（コーチ）は、出場校の校長が認めた者とする。1校1名とし、他校と兼ねることはできない。

※ 大会運営に支障をきたす場合は、退場させることもある。

③監督及びコーチの服装は、審判員に準ずるものとする。

(2)大会参加申込書提出後の選手の変更は、次のとおりとする。

①団体戦選手の変更は、監督会議にて「変更届」（理由を記入）を提出する。【但し、疾病や傷害等、特殊な理由のみとする。】

②個人戦選手・監督・コーチは、申込書提出後の変更は認めない。

(3)皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任者において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。

(4)脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守する。

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急専門医の精査を受けること。

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④大会事務局及び（公財）全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

【 剣 道 】

1 参加規程

- | | | | |
|---------|-----------------|----|---------------------|
| (1) 団体戦 | 各県男女各 2 チームとする。 | 男子 | 正員 5 名（3 名以上）補員 2 名 |
| | | 女子 | 正員 5 名（3 名以上）補員 2 名 |
| (2) 個人戦 | 各県代表 | 男子 | 8 名 |
| | | 女子 | 8 名 |

2 競技規則

- (1)（一財）全日本剣道連盟剣道試合審判規則・細則、並びに令和 4 年度（公財）日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項、主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法）を遵守して実施する。
- (2) 団体戦（予選リーグ戦）順位の判定は勝ち点による。（勝ち：1.0 点、引き分け：0.5 点、負け：0 点）同じ勝ち点の場合は勝者数、総本数の順で行う。
- (3) 竹刀の検査（計測、計量）を行う。竹刀の長さは、男女とも 114cm（約 3 尺 7 寸）以下、重さは男子が 440g 以上、女子は 400g 以上とする。竹刀の先は、男女とも長さ 50mm 以上の先皮を使用し、太さは、先端部最小直径男子 25mm 以上、女子 24mm 以上、ちくとう最小直径男子 20mm 以上、女子 19mm 以上とする。
- (4) 不正用具を使用した場合は、試合規則第 19 条－1、2、3 を適用する。ただし、決勝トーナメント戦は補員を認める。（団体、個人は別ものとする。）
- (5) 補員として申し込みのない者は、選手の位置に入れることはできない。
- (6) オーダーは申し込みの通りで、変更は認めない。
- (7) 団体戦では、一度選手として去った者は、再び選手として出場できない。
- (8) 選手の服装は剣道着及び袴を着用（袴等、刺繍が華美にならないようにすること。学校名、校章等のワッペンや刺繍以外を剣道着の袖につけたり、入れたりしない）すること。
- (9) 選手は、布製の名札を着用する。黒または紺地に白文字とし、学校名「〇〇中」（横）・姓（縦）を明記する。同姓の選手がいるときは、名前の頭文字を入れること。解釈として、別な選手であることが確認できること。
- (10) 「突き技」は禁止とし、反則とすることもある。（技としては反則とする）
- (11) 上段の構えはとらせない。二刀については、使用させない。「片手打ち」は有効打突としない。隻腕については、その都度協議する。
- (12) アイガード・ポリカーボネート面及び化学繊維竹刀の使用を認める。
- (13) サポーターなど（足袋・テーピング、コルセットを含む）については、医療上必要と認める場合に限り使用を認める。使用する場合には各試合場主任に届け出たうえで許可を得ること。また、肘や膝などにつける物を足に使用することや、ゴムや革およびすべり止めを底に貼った物を使用することは禁止する。届け出と違う物を使用した場合は、替えさせる。指先単独のテーピングについては届け出不要とする。
- (14) 引率者及び監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。
- (15) 外部指導者（コーチ）の帯同を希望する場合は、四国各県剣道競技部で申し合わせた外部指導者の取扱いについて同意した上で、「第 60 回四国中学校総合体育大会剣道競技 外部指導者（コーチ）確認書（校長承認書）」を 8 月 1 日（月）までに大会事務局（満濃中）に提出する。様式については、香川県中体連剣道部ホームページ(<https://www.kagawa-chutairen-kendo.com/>)からダウンロードする。

3 競技方法

- (1) 団 体 戦
 - ① 4 チームずつの A・B 2 リーグに分けて予選リーグ戦を行う。
 - ② 各予選リーグ戦に各県 1 位チーム 2、2 位チーム 2 を含み、同県チームが入らないように抽選をする。
 - ③ 予選リーグ戦終了後、A リーグの 1 位チームと B リーグの 2 位チーム、B リーグの 1 位チームと A リーグの 2 位チームを組み合わせて、決勝トーナメント戦を行う。

- ④ 試合は3本勝負、試合時間は3分とする。勝敗の決しない場合は、引き分けとする。
- ⑤ 団体戦(予選リーグ戦)順位の判定は勝ち点による。(勝ち:1.0点、引き分け:0.5点、負け:0点)
同じ勝ち点の場合は、勝者数、総本数の順で決定する。すべて同数の場合は、任意の代表者による代表者戦を予選リーグ戦終了後に行う。この場合は、試合時間3分で1本勝負とする。
勝敗の決しない場合は、延長を勝敗が決するまで行う。
- ⑥ 決勝トーナメント戦の勝敗は、勝者数、ついで総本数によって決定する。
- ⑦ 決勝トーナメント戦において、チームの勝敗が決しないときは、任意の代表者による代表者戦を1本勝負で行う。試合時間は3分、勝敗の決しない場合は、延長を勝敗が決するまで行う。

(2) 個人戦

- ① トーナメント戦方式で行う。
- ② 試合は3本勝負、試合時間3分、勝敗の決しない場合は、延長を勝敗が決するまで行う。

(3) 延長戦

個人戦および団体戦代表者戦の延長は、次のとおりとする。

(延長戦は2分ずつ区切る)

試合時間3分 → 延長2分 → 延長2分 → 【小休止(深呼吸をする程度)】 →
→ 延長2分 → 延長2分 → 【面を外しての休息・給水(3分)】 →
→ 延長2分 → 延長2分 → 【小休止(深呼吸をする程度)】 →
→ 延長2分 → 延長2分 → 【面を外しての休息・給水(3分)】 →
→ 試合の続く限り繰り返す

【 相 撲 】

1 参加規程

- (1) 団体戦 各県 3 チームとする。 選手 5 名（2 名以上）（先鋒・中堅・大将・補員 2 名）
- (2) 個人戦 各県上位 8 名

2 競技規則

- (1) 時間は、3 分を限度とする。
- (2) 禁じ技は、(公財)日本相撲連盟の「競技会規定及び審判規定」による。ただし、次の禁手（技）を加える。反則した場合は取直しとし、再度した場合は審判員の協議により負けとする。
○鴨の入れ首 ○首を脇の下に入れる ○さば折り ○かわずかけ ○反り技
○相手の首をきめる ○極め出し・極め倒し



鴨の入れ首



頭を相手の胸より
下にいれる



頭を相手の脇の下
に入れる



さば折り



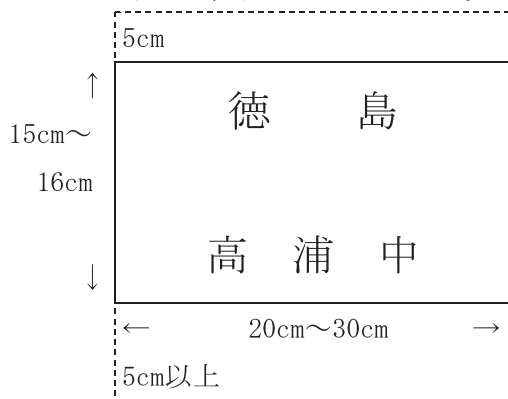
河津掛け



居反り

- (3) 交替選手が出場する場合は、本部の承認を要し、団体戦に限り前選手の位置を継承する。ただし、交替した選手は、再び出場することはできない。また、個人戦に欠場した者は団体戦も欠場とする。
- (4) 立合は主審のかけ声にて立つ。待ったはなしとし、1 回目で必ず立つこと。双方とも両手をついて立ち合うこと。
- (5) 競技の審判に対する異議申立ては、担当の審判のみに許される。一度勝ち名乗りを上げて判定した後は、一切異議の申立ては認めない。
- (6) 選手は呼出しに応じて土俵に上がり、土俵の内側において立礼若しくは塵浄水を行い、土俵中央に進み、蹲踞して主審の合図により仕切にはいる。
- (7) 服装はまわし及びアンダーパンツ以外を身につけてはならない。
※ アンダーパンツをつかんではいけない。勝敗に影響する行為があった場合は、審判団の協議とする。
- (8) 負傷者は、包帯、サポーター、足袋等を身につけることができる。但し、支柱入りのサポーター、その他相手に危害を及ぼすおそれのあると認められるものについては、この限りではない。
- (9) 外部指導者（コーチ）・部活動指導員は、当該校の校長が認めた者に限る。
- (10) 手・足のつめを端正にすること。
- (11) タオルを準備しておくこと。

(12) ゼッケンの規定は、次のとおりとする。



- ※ 字画の太さは、1 cm位とする。
- ※ 輪にしないで、まわしにはさむようにする。
- ※ 必ず県名を入れる。
- ※ 下地は単色の布とすること。

3 競技方法

(1) 団体戦

① 団体予選（各県1位チームと他県の2位・3位チームによりリーグ戦）を行い勝率、勝ち点で上位8チームを選出する。もし同率、同点となった時は、代表決定戦を行う。

（3校の場合、トーナメント法で組合せ抽選）

② 上位8チームで決勝トーナメントを行う。

(2) 個人戦

予選リーグを行い、各グループの上位2名が決勝トーナメントに進出する。

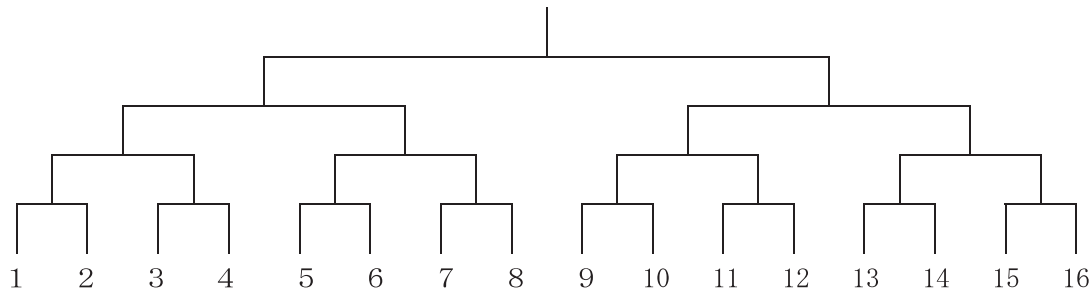
① 8グループによる予選リーグを行う。（県名（A～D）－順位）

aグループ	A－1	B－3	C－6	D－8	eグループ	A－2	D－4	B－5	C－7
bグループ	B－1	C－3	D－6	A－8	fグループ	B－2	A－4	C－5	D－7
cグループ	C－1	D－3	A－6	B－8	gグループ	C－2	B－4	D－5	A－7
dグループ	D－1	A－3	B－6	C－8	hグループ	D－2	C－4	A－5	B－7

※ グループ内で勝率が同じ場合は、決定戦を一度行う。ただし、勝負が決しない場合は、抽選で順位を決定する。

※ 県の事情により、8名以下の出場になった場合は、3名でリーグ戦を行うグループができる。（グループ内で勝率が同じ場合は、上記に同じ。）

② 決勝トーナメント（予選リーグ上位2名、計16名）



※ 各グループ1位通過者より抽選を行う。（奇数番号に振り分け）続いて、2位通過者が抽選を行う。（偶数番号に振り分け）

※ 抽選は、各グループ1位から順番に予備抽選を行い、その後本抽選を行う。各グループ2位についても同様とする。

その他

大会参加申込書提出後の選手の変更は認めない。

【 テ ニ ス 】

1 参加規程

(1) 団体戦

各県男女各2チームとする。各県の団体戦の成績順位で、上位2チームを選ぶ。

2 競技規則

(1) 競技規則は現行の日本テニス協会の競技規則及び大会開催要項による。

(2) 使用球は公認球（黄色）を使用する。

(3) ユニフォームは、上は半袖のスポーツシャツ、下は短パン・膝より上のパンツ、スコート（ショートパンツ）を着用すること。

〔注意〕 服装（用具を含めて）の色等は華美にならないようにし、公認メーカーのものを使用する。

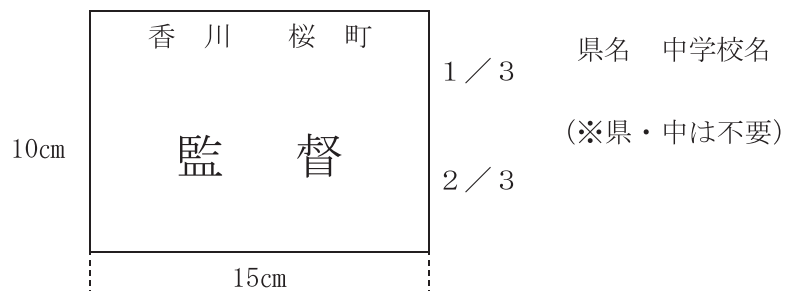
(4) テニスシューズを必ず履くこと。

(5) ソックスは白を基調としたもので、ハイソックスは認めない。

(6) 監督がベンチに入る時は、スポーツウェアを着用し、テニスシューズを必ず履くこと。

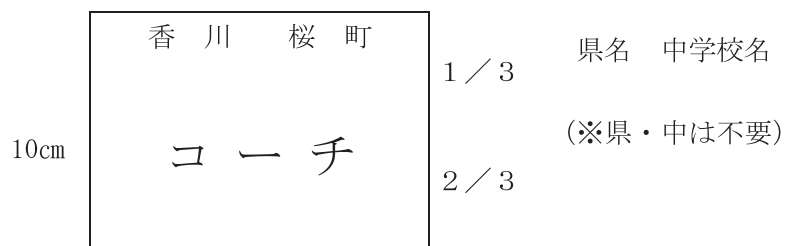
また、監督は胸にゼッケンを付けること。なお、背中中のゼッケンは不要とする。

〔監督のゼッケン〕



(7) 外部指導者（コーチ）のベンチ入りを認める。【外部指導者（コーチ）証】を所持すること。

〔外部指導者（コーチ）のゼッケン〕



(8) 選手変更について

団体戦で、申し込み後メンバーを変更し直す場合は、「変更届」を大会本部に提出する。

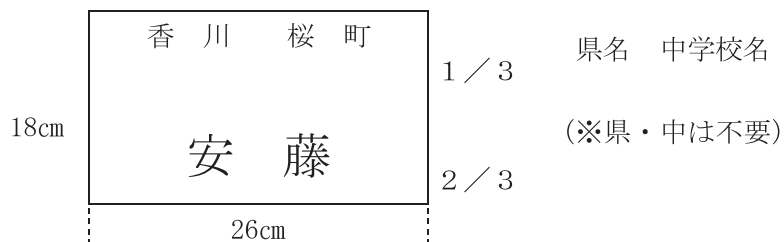
(9) ハチマキには正面に特別な文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。ただし、ハチマキの端の部分に「学校名・名前」を記入してもよい。帽子・サンバイザーもこれに準ずる。

(10) 背中中のゼッケンを各校で別の布などで作成し、背中に縫いつけること。着脱しやすいようにホック、マジックテープ、安全ピンで止めることは可とする。

① ゼッケンはB5版横（白地）の大きさの布に都道府県名、学校名、姓を記述する。また、県名の「県」、中学校の「中」の文字はつけないものとする。また、県名と学校名の間は空白とする。

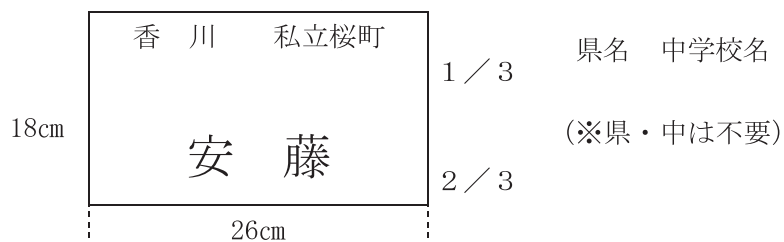
- ② ゼッケンの文字は「漢字」，「ひらがな」，「カタカナ」を使用し，文字色は「黒」とする。
 シャツそのものへのプリントは認めない。

《例 1》香川県 桜町中学校 安藤 隆



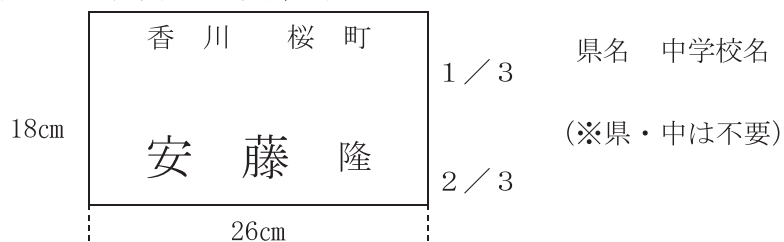
- ③ 県内で同名の中学校がある場合には，区別するために中学校名の工夫をしてもよい。（各地区ごとに望ましい表記をする。）

《例 2》香川県 私立桜町中学校 安藤 隆



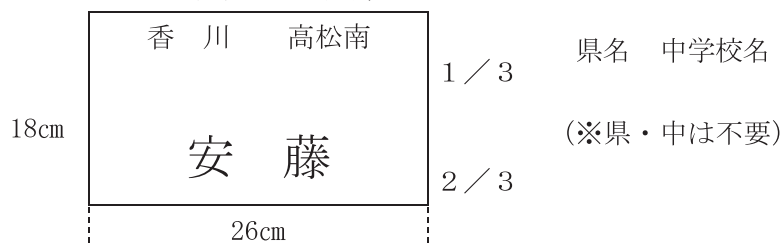
- ④ ゼッケンの文字の位置は《例 1》どおりとし，同一校に同姓の選手がいる場合には，名前の一文字を付け加える。

《例 3》香川県 桜町中学校 安藤 隆



- ⑤ 中学校名が第一・第二中学校や東・西・北・南中学校のような場合には，学校名を分かりやすくするために学校所在地を付記してもよい。

《例 4》香川県 高松市立南中学校 安藤 隆



3 競技方法

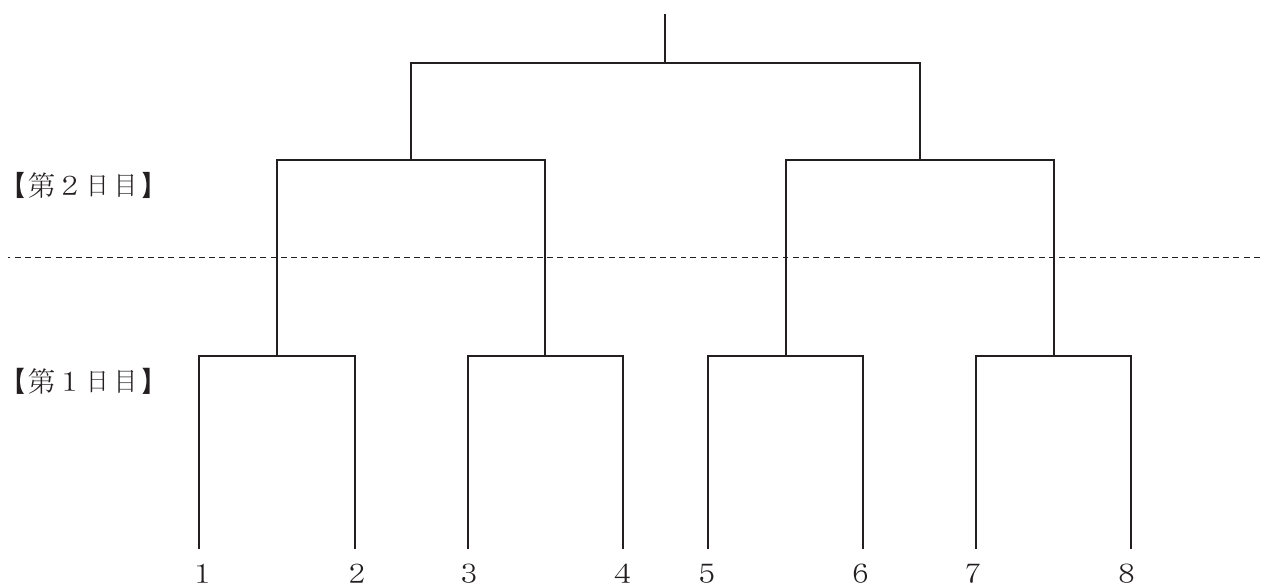
- (1) 団体戦は各県から選抜された男女各 8 校（監督 1 名とシングル 3，ダブルス 2 の選手 7 名で 1 チーム編成 登録 10 名以内）によるトーナメント方式とし，3 位決定戦までを行う。
- (2) 全試合 6 ゲームズプロセット（6－6 後タイブレイク）
- (3) 試合開始時刻は，次のとおりとする。

競技開始 6 日 13：30 ～

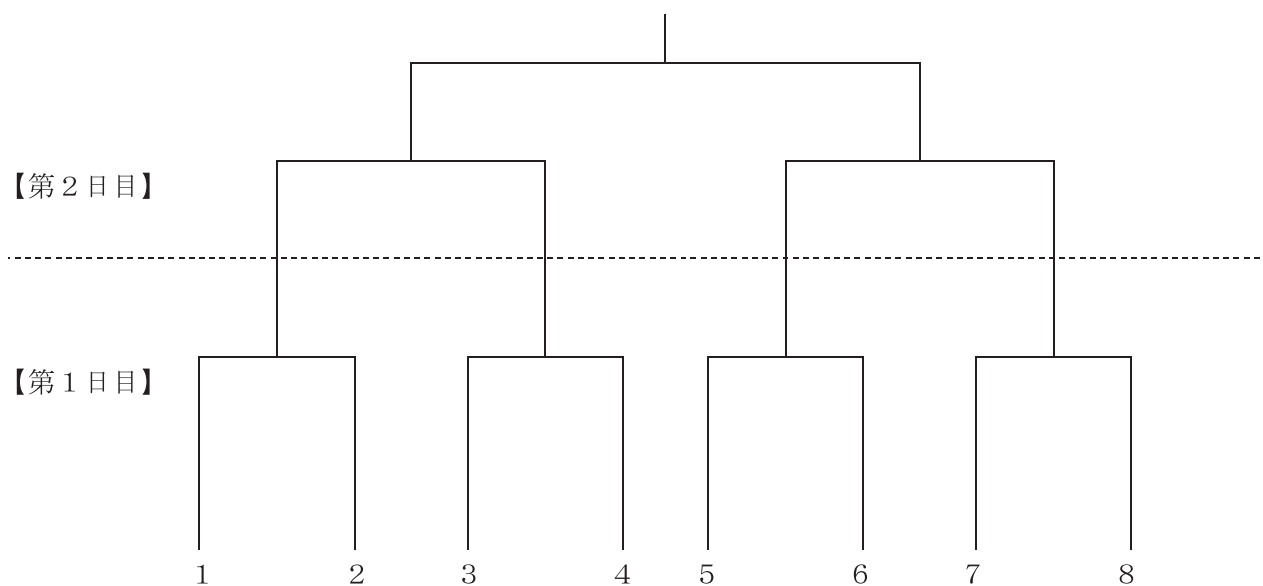
7 日 10：30 ～

(4) 組合せ

〔男子〕



〔女子〕



宿 泊 要 項

- 1 宿泊料金 (1) Aプラン 1泊2食付 9,000円(税, サービス料込み)
(2) Bプラン 1泊夕食付 8,500円(税, サービス料込み)
(3) Cプラン 1泊朝食付 7,500円(税, サービス料込み)
(4) Dプラン 1泊素泊まり 7,000円(税, サービス料込み)
- 2 宿泊条件 (1) 適切な危機管理対応(感染症・自然災害等)を確保するため, 必ず各県中学校体育連盟指定の取扱旅行業者を通して申し込むこと。
(指定外の宿泊施設の利用は認めない。)
(2) 宿泊は, 競技別とする。
(3) 畳数は, 1名1.5畳以上とする。
(4) 引率は, 同宿とする。
(5) キャンセル料は, 以下のとおりとする。
当日12時まで 50% 15時まで 70%
(6) 男女を同一フロアに部屋割りしないように配慮する。
(7) 他県(他校)の選手・監督を相部屋に部屋割りしない。
- 3 弁 当 (1) 料金700円(お茶付き消費税込)
(2) 宿泊申し込みと同様に, 所定の方法で申し込んでください。
- 4 申 込 (1) 申し込み要領は, 次のとおりとする。
① 7月29日(金)【陸上, サッカー, 体操, 新体操男子, ソフトボール, 柔道は7月27日(水)】までに当該競技開催県の取扱旅行業者に宿泊・弁当申込書をFAX送信し, その後, 直ちに郵送すること。宿泊費及び弁当代金は所定の口座に振り込むこと。申し込みを受けた当該競技開催県の取扱旅行業者は, 申し込み確認書を当該校に返送する。
② 宿泊・弁当等の領収証が必要な学校は, 宿泊・弁当申込書において必ず事前に申し込むこと。
(2) 申込期日 FAXにて7月29日(金)必着, その後郵送【陸上, サッカー, 体操, 新体操男子, ソフトボール, 柔道は7月27日(火)】

駐車場については, 当該校が事前に取扱旅行業者あるいはホテル(旅館)にお問い合わせください。

5 申込先

香川県		株式会社日本旅行高松支店			
〒	760-0026	住所	香川県高松市磨屋町2-8 あなぶきセントラルビル1階		
		T E L	087-851-4981		
		F A X	087-822-7380		
担当者名	湯谷、武知、田中			連絡先 (夜間等)	070-1541-6795(湯谷) 080-3434-1593(武知)
銀行名	支店名	科目	口座番号	口座名義	
みずほ銀行	十五号支店	普通	3103889 (陸上)	株式会社日本旅行	
			3103890 (体操・新体操)		
			3103891 (テニス)		
			3103892 (剣道)		

徳島県		名鉄観光サービス株式会社 徳島支店			
〒	770-0904	住 所	徳島県徳島市新町橋2-10-1 眉山第一生命ビル4階		
		T E L	088-622-1203		
		F A X	088-622-1157		
担当者名	佐々木 秀樹／齋藤 昌己			連絡先 (夜間等)	080-1552-4007
銀行名	支店名	科目	口座番号	口座名義	
三井住友	東海	普通	2335852	メイテツカンコウサービス (カ	

高知県		株式会社JTB 高知支店			
〒	780-0834	住 所	高知県高知市堺町1-21 JTBビル3階		
		T E L	088-823-2331		
		F A X	088-873-0609		
担当者名	武内 季、岡崎 康展			連絡先 (夜間等)	080-2996-1063
銀行名	支店名	科目	口座番号	口座名義	
三菱UFJ銀行	千代田支店	普通	5452277	株式会社JTB代表取締役社長 山北栄二郎	

愛媛県		名鉄観光サービス株式会社 松山支店			
〒	790-0003	住 所	愛媛県松山市三番町4-12-4 松山大同生命ビル1階		
		T E L	089-921-5131		
		F A X	089-921-7166		
担当者名	前田 智祐			連絡先 (夜間等)	080-1552-3128
銀行名	支店名	科目	口座番号	口座名義	
みずほ銀行	第五集中	普通	0170853	名鉄観光サービス株式会社	

宿 泊 一 覧

競技名	県名	宿 舎 名	住 所	電話番号
陸上	香川県	アパホテル高松空港（素泊まり） 高松シティホテル（素泊まり） 東横イン高松兵庫町（1泊朝食） ザ・セレクトン高松（1泊朝食） ビジネスホテル パークサイド高松（1泊朝食） リーガホテルゼスト高松（1泊朝食） 坂出グランドホテル（1泊2食） 坂出プラザホテル（1泊2食） ホテルAZ香川宇多津（1泊2食）	高松市香南町由佐2425-2 高松市亀井町8-13 高松市兵庫町3-1 高松市城東町1丁目9-5 高松市栗林町1丁目3-1 高松市古新町9-1 坂出市西大浜北1丁目2-33 坂出市西大浜北3丁目2-43 綾歌郡宇多津町新開2419-5	087-879-1111 087-834-3345 087-821-1045 087-821-2222 087-837-5555 087-822-3555 0877-44-1000 0877-45-6565 0877-49-0501
体操・新体操 （男子）		坂出グランドホテル（1泊2食）	坂出市西大浜北1丁目2-33	0877-44-1000
テニス		ビジネスホテル パークサイド高松（1泊朝食） ザ・セレクトン高松（1泊朝食） リーガホテルゼスト高松（1泊朝食）	高松市栗林町1丁目3-1 高松市城東町1丁目9-5 高松市古新町9-1	087-837-5555 087-821-2222 087-822-3555
剣道		琴平パークホテル（1泊朝食） ホテルシェトワ観音寺（1泊朝食）	仲多度郡琴平町榎井706-7 観音寺市坂本町4丁目6-8	0877-73-3939 0875-23-7722

※お食事対応は、必要に応じて弁当対応も可能。

競技名	県名	宿 舎 名	住 所	電話番号
バスケット ボール	徳島県	アグネスホテル徳島 アグネスホテルプラス ホテル千秋閣 ホテルたいよう農園徳島県庁前 東横イン徳島駅前（夕食弁当対応・朝食：軽食のみ） セルフィン徳島東船場（夕食弁当対応） 宿屋ひわさ ホテルネクセル鳴門（夕食弁当対応） セントラルホテル鴨島（夕食弁当対応・朝食：軽食のみ） HOTEL AZ徳島小松島店 スーパーホテル阿南富岡（夕食弁当対応） ホテル石松 あなんステーションホテル（夕食弁当対応・朝食なし）	徳島県徳島市寺島本町西1-28 徳島県徳島市寺島本町西1-34 徳島県徳島市幸町3-55 徳島県徳島市昭和町1-15 徳島県徳島市両国本町1-5 徳島県徳島市東船場町2丁目15 徳島県徳島市西船場町1丁目9番地 徳島県鳴門市撫養町斎田大堤5-5 徳島県吉野川市鴨島町鴨島471-2 徳島県小松島市金磯町字土手町93-1 徳島県阿南市学原町深田9-1 徳島県阿南市富岡町トノ町113-3 徳島県阿南市富岡町今福寺43-5	088-626-2222 088-655-1212 088-622-9121 088-655-5151 088-657-1045 088-626-0818 088-661-1381 088-683-1230 0883-24-8989 0885-32-5670 0884-22-9000 0884-22-0126 0884-28-7711
卓球		アグネスホテル徳島 アグネスホテルプラス ザ・グランドパレス ホテル千秋閣 ホテルたいよう農園徳島県庁前 東横イン徳島駅前（夕食弁当対応・朝食：軽食のみ） セルフィン徳島東船場（夕食弁当対応・朝食：軽食のみ） ホテルネクセル鳴門（夕食弁当対応） ホテルカクイン鳴門（夕食・朝食弁当対応）	徳島県徳島市寺島本町西1-28 徳島県徳島市寺島本町西1-34 徳島県徳島市寺島本町西1-60-1 徳島県徳島市幸町3-55 徳島県徳島市昭和町1-15 徳島県徳島市両国本町1-5 徳島県徳島市東船場町2丁目15 徳島県鳴門市撫養町斎田大堤55 徳島県鳴門市撫養町斎田字大堤208	088-626-2222 088-655-1212 088-626-1111 088-622-9121 088-655-5151 088-657-1045 088-626-0818 088-683-1230 088-685-1115
ソフト ボール		ホテルキャッスルCV ビジネスホテル鳴門（夕食弁当対応） ビジネスホテル久次米（夕食弁当対応） セントラルホテル鴨島（夕食弁当対応） ビジネスホテルロードサイド（夕食弁当対応） ビジネスホテルアクセス鴨島（夕食弁当対応） ビジネスホテル八幡 ビジネスホテルマツカ（夕食弁当対応） あなんステーションホテル（夕食弁当対応） ロイヤルガーデンホテル阿南（夕食弁当対応）	徳島県徳島市北常島2-11-1 徳島県鳴門市撫養町斎田大堤104-105 徳島県板野郡藍住町奥野字西中須42-1 徳島県吉野川市鴨島町鴨島471-2 徳島県吉野川市鴨島町内原160-3 徳島県吉野川市鴨島町鴨島224-1 徳島県阿波市市場町大野島新ノ池8-1 徳島県美馬市脇町猪尻建神社下南153-1 徳島県阿南市富岡町今福寺43-5 徳島県阿南市富岡町あ王谷52-2	088-625-2334 088-686-2555 088-692-5783 0883-24-8989 0883-22-1088 0883-24-5050 0883-36-1688 0883-52-1555 0884-28-7711 0884-23-3838
相撲		ザ・グランドパレス アグネスホテル徳島	徳島県徳島市寺島本町西1-60-1 徳島県徳島市寺島本町西1-28	088-626-1111 088-626-2222

競技名	県名	宿 舎 名	住 所	電話番号
柔道 サッカー 新体操 バドミントン	高知県	高知グリーンホテルはりまや橋	高知市はりまや町 3-1-1 1	088-822-1800
		ザ クラウンパレス新阪急高知	高知市本町 4-2-5 0	088-873-1111
		ホテル S P-haruno-	高知市春野町芳原 2 4 8 5	088-842-0011
		天然温泉はるのの湯	高知市春野町西分 3 5 4 6	088-894-5400
		ホテル高砂	高知市駅前町 2-1	088-822-1288
		リゾートホテル高知和風別館吉萬	高知市北本町 2-1-2 2	088-885-3311
		高知プリンスホテル	高知市南宝永町 4-2	088-883-2323
		リバーサイドホテル松栄	高知市天神町 8-1	088-832-3211
		サザンシティホテル	南国市明見 9 3 3	088-863-2000
		高知黒潮ホテル	香南市野市町東野 1 6 3 0	0887-56-5800
		ロイヤルホテル土佐	安芸郡芸西村西分甲 2 9 9 5	0887-33-4510
		土佐御苑	高知市大川筋 1-4-8	088-822-4491
		ウェルカムホテル高知	高知市追手筋 1-8-2 5	088-823-3555
		高知アネックスホテル	高知市廿代町 5-16	088-821-2111
		ホテルおおりや	高知市追手筋 1-6-2 1	088-821-0100
		サウスブリーズホテル高知海月	高知市農人町 5-2 9	050-3163-9950
		ホテルNO. 1高知	高知市廿代町 16-8	088-873-3333
		高知会館	高知市本町 5-6-4 2	088-823-7123
		高知共済会館COMMUNITY SQUARE	高知市本町 5-3-2 0	088-823-3211
		ホテルベストブライズ高知	高知市南宝永町 1 6-1 2	088-861-1223
		高知バシフィックホテル	高知市駅前町 1-1 5	088-884-0777
		高知ホテル	高知市駅前町 4-1 0	088-822-8008

※食事については、施設から徒歩圏内の場所や、弁当対応の可能性あり。

競技名	県名	宿 舎 名	住 所	電話番号
軟式野球 ハンドボール 水泳	愛媛県	ホテル泰平	松山市平和通3-1-15	089-943-5000
		ホテルたいよう農園二番町	松山市二番町1-11-5	089-931-3111
		スカイホテル	松山市三番町8-9-1	089-947-7776
		松山シティホテル(朝食・夕食:弁当対応)	松山市宮田町1-3	089-932-1121
		ホテル勝山(朝食・夕食:弁当対応)	松山市勝山町1-11-1	089-947-0561
		ホテルサンルート松山	松山市宮田町391-8	089-933-2811
		ホテルマイステイズ松山(夕食:弁当対応)	松山市大手町1-10-10	089-913-2580
		サンガーデン松山	松山市平和通3-2-10	089-926-4411
		奥道後壺湯の守	松山市末町267	089-977-1111
		東京第一ホテル松山	松山市南堀端町6-16	089-947-4411
		松山東急REIホテル(朝食・夕食:弁当対応)	松山市一番町3-3-1	089-941-0109
		たかのこの湯(夕食:弁当対応)	松山市鷹子町737-2	089-960-1588
		えひめ共済会館	松山市三番町5-13-1	089-945-6311
		ホテルカジワラ(夕食:弁当対応)	松山市大手町2-9-10	089-941-0402
		ホテルNo.1松山(夕食:弁当対応)	松山市千舟町2-7-3	089-921-6666
		ホテルチェックイン松山(夕食:弁当対応)	松山市三番町2-7-3	089-998-7000
		コンフォートホテル松山(夕食:弁当対応)	松山市花園町3-18	089-913-7311
アビスイン道後・松山(夕食:弁当対応)	松山市勝山町2-3-3	089-998-6000		
レフ松山市駅byベッセルホテルズ(夕食:弁当対応)	松山市湊町5丁目2-2	089-915-8111		
長珍屋	松山市浄瑠璃町甲119-1	089-963-0280		
HOTEL AZ 愛媛伊予店	伊予市稲荷字北田甲710-1	089-982-1001		
いよプリンスホテル(夕食:弁当対応)	伊予市灘町16	089-982-7777		
ソフトテニス		ホテル菊水今治	今治市中浜町1-2-5	0898-23-3330
		サンライズ糸山(夕食:弁当対応)	今治市砂場町2-8-1	0898-41-3196
		ホテルクラウンヒルズ今治駅前	今治市北宝来町1-5-9	0898-23-0005
		今治プラザホテル	今治市別宮町1-3-5	0898-25-2500
		今治アーバンホテル	今治市北宝来町1-5-28	0898-22-5311
		ホテルアジュール汐の丸	今治市湯ノ浦30	0898-47-0707
		休暇村瀬戸内東予	西条市河原津	0898-48-0311
		ホテルつよし	今治市大西町宮脇甲448	0898-53-4116
		ホテル七福	今治市片原町2-1-21	0898-22-3425
		ホテル羽倉	今治市波方町波方甲2034-3	0898-41-9538
バレーボール		ホテルグランフォーレ	四国中央市三島朝日1-1-30	0896-23-3355
		ビジネスホテルマイルド	四国中央市三島朝日3-1-12	0896-24-3090
		ホテルセレクトイン四国中央(夕食:弁当対応)	四国中央市川之江町1902-1	0896-22-3900
		川之江ビジネスホテル(夕食:弁当対応)	四国中央市川之江町4062-15	0896-56-6988
		スーパーホテル四国中央(夕食:弁当対応)	四国中央市下柏町852-1	0896-22-9000

競技別会場所在地一覧

競 技 名		会 場 名	A E D設置場所	所 在 地
陸 上 競 技		屋島レクザムフィールド	玄関入口 事務所	高松市屋島中町374-1
水 泳 競 技		アクアパレットまつやま	監視室	松山市市坪西町625番地1
バスケットボール		松茂町総合体育館	事務所横	松茂町中喜来群恵225-3
サ ッ カ ー		春野総合運動公園球技場 陸上補助競技場	陸上競技場	高知市春野町芳原2485
ハンドボール		松山市総合コミュニティセンター体育館 伊予市民体育館	事務室 体育館玄関	愛媛県松山市湊町七丁目5番地 伊予市森甲91番地1
軟 式 野 球		坊っちゃんスタジアム マドンナスタジアム	事務所 ロビー	松山市市坪西町625番地1
体 操 競 技		多度津町民体育館	西側トイレ付近	多度津町西港町41
新体操	男 子	多度津町民体育館	西側トイレ付近	多度津町西港町41
	女 子	南国市立スポーツセンター	体育館事務所受付横 体育館事務所内	南国市前浜1344-3
バレーボール		伊予三島運動公園体育館	体育館受付	四国中央市中之庄町1665番地1
ソフトテニス		今治市営スポーツパークテニスコート	事務所前	今治市高橋ふれあいの丘1番地2
卓 球		アミノバリューホール	正面入口事務所	鳴門市撫養町立岩字四枚61
バドミントン		南国市立スポーツセンター	体育館事務所受付横 体育館事務所内	南国市前浜1344-3
ソフトボール		吉野川北岸運動広場	本部	徳島市応神町東貞方南川渕99-3
柔 道		県立武道館	正面玄関 3F試合場	高知市丸ノ内1-8-3
剣 道		観音寺市立総合体育館	事務所横	観音寺市池之尻町1071
相 撲		むつみパーク蔵本相撲場	むつみスタジアム 事務所	徳島市庄町1-76-2
テ ニ ス		香川県総合運動公園テニス場	テニス事務所	高松市生島町614

※ 変更理由は、提出に際して「理由の記入」が必要な競技のみ記入すること。

第60回 四国中学校総合体育大会宿泊・弁当申込書

県 名	県	競 技 名	
学校名及び住所	学校	住 所	〒
学 校 連 絡 先	TEL		FAX
宿 泊 責 任 者	氏 名		
	TEL		携帯TEL

※ 宿泊料金 (1) Aプラン 1泊2食付 9,000 円 (税, サービス料込み)
 (2) Bプラン 1泊夕食付 8,500 円 (税, サービス料込み)
 (3) Cプラン 1泊朝食付 7,500 円 (税, サービス料込み)
 (4) Dプラン 1泊素泊り 7,000 円 (税, サービス料込み)

1 申込宿泊プラン:() プラン ※下表の宿泊期日と曜日も併せてご記入ください。

宿 泊 申 込	期日・曜日		日（ ）曜日の宿泊	日（ ）曜日の宿泊	計
	選 手	男 子	人	人	人
		女 子	人	人	人
		小 計	人	人	人
	引 率 監 督	男 子	人	人	人
		女 子	人	人	人
	コ ー チ	男 子	人	人	人
		女 子	人	人	人
	専門部長	男 子	人	人	人
		女 子	人	人	人
	帯同審判	男 子	人	人	人
		女 子	人	人	人
合 計		人	人	① 人	

2 弁当申込 ※下表の購入期日と曜日も併せてご記入ください。

弁当申込	期日・曜日	日 ()曜日の弁当	日 ()曜日の弁当	合 計
	弁当個数	個	個	② 個

3 納入金額 (宿泊料金: 宿泊プランによる金額 弁当: 700 円)
 〔① 人× 円〕 + 〔② 個× 700 円〕 = 円
 上記, 申し込みます。

(申込責任者)

県 学校 職名 氏名 印

4 宿泊等の領収証について

該当する箇所に○をご記入ください。

- [] I. 旅行代理店発行の領収証と宿泊所発行の宿泊証明書が必要です。
 [] II. 旅行代理店発行の領収証が必要です。
 [] III. 宿泊申し込み確認書で結構です。

領収証内容: ①宿泊と弁当() ②宿泊のみ() ③弁当のみ()

＜備 考＞

5 留意事項

- (1) 申込後は必ず宿泊をしてください。やむを得ず不泊の場合は、宿泊要項にあるキャンセル料で対処いたします。
 (2) 申し込み: 7月29日(金) までに、参加の各校で申込書(申込責任者印を押印したもの)を、宿泊要項にある当該競技開催県の取扱旅行業者にFAX送信し、その後、直ちに郵送してください。宿泊費及び弁当代金は、所定の口座に振り込んでください。なお、振込手数料は申込者にてご負担ください。

※陸上, サッカー, 体操, 新体操 (男子), ソフトボール, 柔道は 7月27日(水) までに

- (3) 宿泊領収証等が必要な場合には、この用紙にて申し込んでください。
 (4) 学校所定の宿泊証明書が必要な場合には、宿泊当日ご持参ください。

備考 到着予定時刻

利用交通機関 貸切バス (大型 : 中型) J R 自家用車 台 他